

神戸大学ニュースネット

NEWS NET

©神戸大学ニュースネット委員会
関西学生報道連盟共同編集室 〒532 大阪市淀川区西中島2-4-18-301 06(307)1315

特集 震災から1年
2面 神大この1年の動き
5面 44人への追悼手記
14面 95年十大ニュース
震災文庫がオープン

どこよりも安く...がモットーです

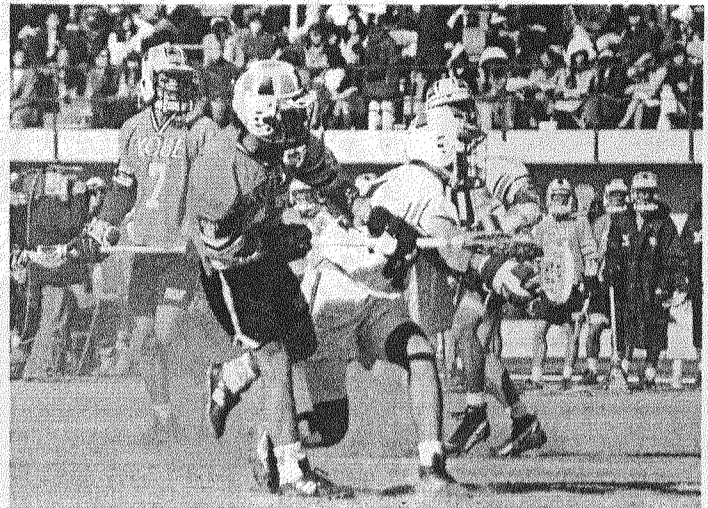
■安心できる低価格
マッキントッシュの採用でムダを徹底的になくした結果の安心価格です。

■例えばこんなものをご用意下さい。
・パンフレット・部誌
・プログラム・新聞
・チラシ・チケットetc.

印刷のスーパー
工房 **ムーゼン**
箕面市桜井1-1-3
TEL.0727(22)9795

見積り依頼
大歓迎!

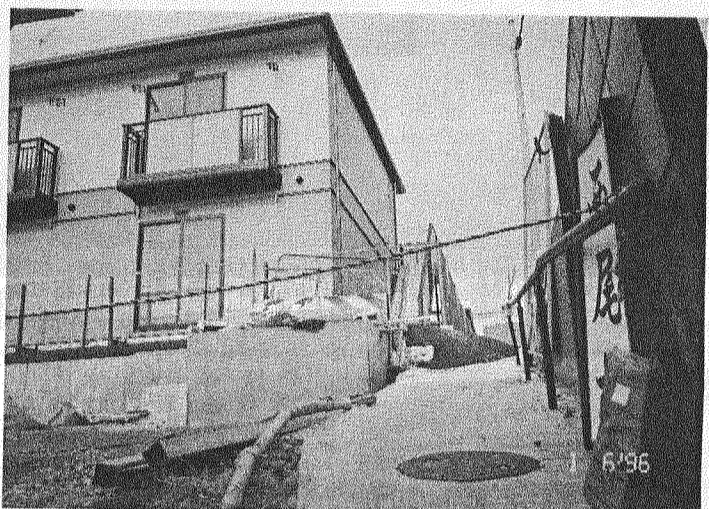
1月号



神大の猛追に、慶応はピンチを迎える。(十二月十七日、東京・江戸川区陸上競技場で。神大ニュースネット取材班撮影)

悪夢の阪神大震災から一年

サラ地の下宿街にもようやくアパート再建



倒壊、焼失し、神大生三人が亡くなった灘区六甲町の西尾荘跡には、新しいアパートが建っていた。焼け残った看板のたもとには、前の住人あての就職資料が。(一月六日撮影)

十七日には副学長らが記念講演

跡では新しいアパートが完成。神大生三人が亡くなった敷地の端には、当時の看板が立て掛けられたまま。そのたもとには、前の住人あての分厚い就職資料集が届いていた。

住吉寮でピアノコンサート



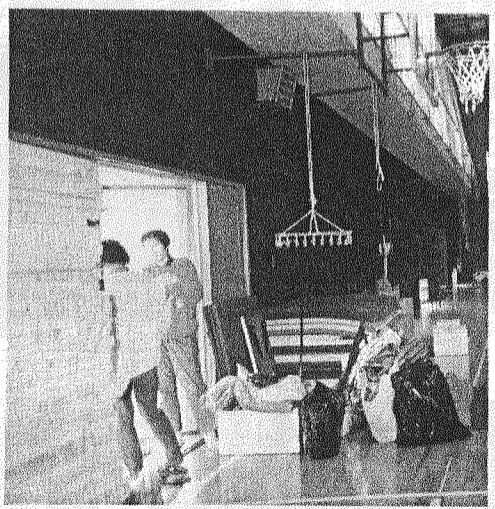
住吉寮にクラシックのミスマッチ(?)も乙なもの。(十二月二日、副野記者撮影)

行事は特別講演会だけ。農学部大会議室で午後二時から「震災と大学」などをテーマに行われる。また、三月十五日には、六甲台前庭にモニメントが設置される予定。【2・13面に特集】

全日本選手権で準優勝 ラグロス男子次はVだ

東京・江戸川区陸上競技場で行われた第6回ラグロス全日本選手権決勝で、神大(関西学生1位)は慶応(関東学生1位)に猛追したものの7-6で惜しくも王座を逃した。去年3位だった神大は、初の決勝進出、準優勝。関西勢としては、決勝進出は一九九三年の関学以来。初の優勝がかかった大会だったが、またも関東勢の壁の前に屈した。

引っ越し 神大震災退避所 九カ月目に解消



「神大生のみなさん、ありがとう」と、被災者の人達。(十一月三十日 国際文化体育館で)

九五年十一月三十一日、神大体育館に残っていた避難者はそれぞれ行く飯設が決まった。九カ月にわたる体育館での避難生活もようやく終わった。震災から一年、避難所が一部の学生の関心におわたったのではないことを祈りたい。また学内には、避難所の人達からのお礼の掲示が貼り出された。

十二月二日に神大住吉寮で大井浩明・鈴木貴彦両ピアノリストによるミニピアノコンサートが行われた。曲目は三宅博名や坂本龍一などの現代音楽からバッハやベートーヴェンに至るまで幅広いもので、2時間余の間集まった人達はリラックスなムードの中にも大井・鈴木両氏の繰り広げるピアノマジックにしばしの

間酔いしれていた。大井氏いわく「ピアノがコンサート用のものでないだけにつぶれないかと心配で心配で...。まあそこをなんとかするのがプロの持ち味でして。でもコンサートに結構力を入れただけにみんな熱心に聞いて聞いて、うれいんです。このエネルギーが伝わってくれるといのですが...」。

伏流水

辛い編集作業が続いた。被災された学生、教職員の皆さんのご家族への、追悼の電話確認。▼三分の二のご家族は「記録に残すなら協力しましょう」

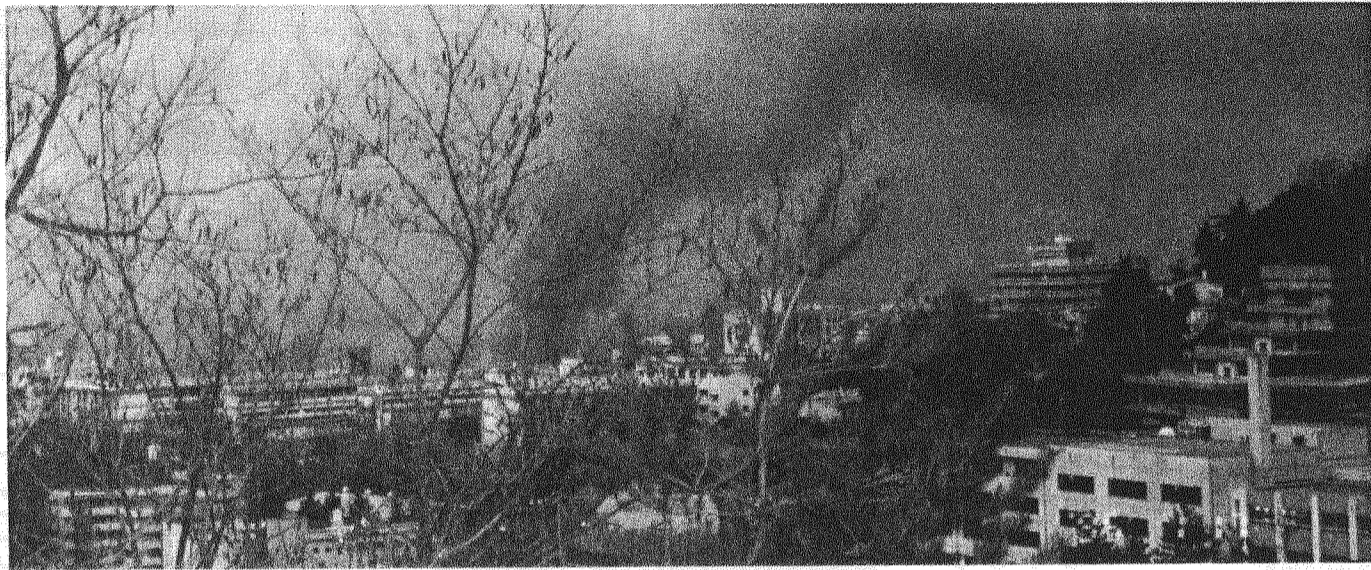
住友林業株式会社
取締役会長 **大西和男**
(二三回生)

〒六〇 東京都新宿区西新宿六丁目十四番二号
電話〇三三三三二六六五〇

「共に神大に学んだ学生がいたことを忘れないでください」というご返事だった。▼三分の一のご家族からは「もう思い出したくない」「プロフィールだけにしてください」というお返事があった。「今も神戸で生活している」と信じているのです。というお母さんに、記者はかける言葉を探したがみつからなかった。▼約六百字という制限に「その短さに入りきれないんです」というお気持ちにも、うなずくしかなかった。▼冷たく静かな空に、黒い煙のたなびくあの光景がまた目に焼き付いている。辛くて忘れたいが、忘れてはいけない、あの日が来る。

特集

激震のあの日から一年
ドキュメント神戸大学のあゆみ



午前七時すぎ。鶴甲からみた神大キャンパスと神戸市街地。大学本部のむこうには六甲町から立ちのぼる煙か。(1月17日午前七時すぎ 瀬区鶴甲四の柴藤哲也さん撮影)

阪神大震災は、神戸大学にも大きな犠牲をもたらした。亡くなったのは、学生三千九人、教職員二人、名誉教授一人、生協職員二人。負傷者は教職員・学生あわせて五百五十六人に達した。一方、建物には大きな被害はなく、火災も発生しなかったものの、実験機器や材料は、冷凍庫の停電などで多くの資料が失われた。設備の復旧費は約五十五億円以上かかるものと見られている。

附属病院への緊急受け入れ患者数は千九百二十四人。うち、亡くなった方は七十三人。大学構内に受け入れた被災者は、ピーク時で、国際文化学部千六百六十人、工学部に百二十人、農学部百六十人、自然科学研究科棟に七十人、発達科学部に五十人、附属住吉小に二百五十人、附属病院に二百五十人という数にのぼった。

発災以来、大学は研究機関として地域の公共施設としての使命をはたしてきたが、これも、全国の大学、大学生協の救援や、学生ボランティアの支えがあったからこそであった。この一年の神大の動きをふりかえってみる。

1月17日午前5時46分
町並みが波打った
倒壊そして炎上

テレビのヘリ中継には、炎上する六甲町が映し出された。西尾荘あたりには炎がみえる。(NHKテレビより)



8:50

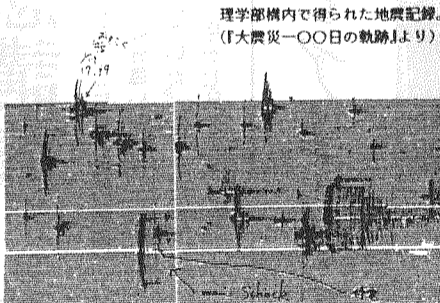
●1月17日
◎午前5時46分、激震。
神大生協カフェテリアの田中昭雄店長は、開店準備のため国際文化学部の門衛所にバイクで到着。突然グラツと横揺れ。大阪方向にピカッと稲光が走る。そしてグラツグラツと、大学前の住宅の家並みが波打つように揺れた。「気が付いたらバイクごと倒れてました」

農学部・保田茂教授は、研究室で徹夜明け。突然の揺れでとっさに机の下に。停電。余震がおさまるのを待って薄暗い研究室を見ると、スチール製の書架が振り飛ばされ、本とガラスが散乱。「仮眠場所に重い本棚が飛んで来ていて、危ないところでした」気が付くと窓の外の神戸市街の、そこそこ赤い炎が。

午前6時5分、医学部附属病院に最初の患者搬入。頭部外傷。6時半ごろから被災救急患者が殺到。(医学部記録誌)

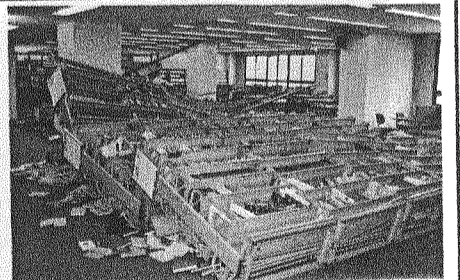
午前6時38分ごろ、黒田庶務部長が、灘区高尾町の自宅から六甲台本部に到着。学内の被害確認開始。「研究室から出火していないか、学内や附属病院でケガ人が出ていたらどうしようか」大阪市在住の鈴木学長になかなか電話がつかない。

午前9時前、保田教授は、農学部玄關前で同僚と顔を合わせる。空を厚くおおう煙をぼうぜん眺めるのみ。学舎内を歩くと、水道管が敗れたらしく、おびただしい水が降り注ぎ、ガスやエーテルの匂いも漂う。(「大震災一〇〇日の記録」より)



理学部構内で得られた地震記録。(「大震災一〇〇日の記録」より)

9時前、住吉寮の仲間と友人の安否を確かめにまわっていた本紙・元岡努記者は、灘区六甲町の西尾荘にたどり着く。一階が崩れ落ち二階が一階に。そのすぐ後ろ10mほどのところまで猛火が迫る。三人の仲間がとりに残されている。しかし、これ以上手がつけられない。「なんでや。なんでや」と泣き崩れる者。そして十五人ほどの神大生は無言で立ち尽くす。消防車は来ない。



国際・教養系図書室の隣接図書室(1月17日 附属図書館提供)

9時半ごろ熊谷事務部長が人文・社会学系図書室に到着。惨憺たる状況。書架閲覧室などでは多数の書架が転倒。多くの図書が落下。使うことができた。水を求めてバケツやペットボトルを持って歩く人の姿が目についた。学内の研究室や図書室などでは、本棚などあらゆるものが倒れている。



本部に設置された神戸大学災害対策本部。(1月28日 ニュースネット)

午前9時過ぎ、本や食品が崩れ落ちた状態のなか、神大生協ランスはいちはやく店を開けた。レジの代わりに電卓で計算。学生や近所の人にはカップめんや菓子

などを買いこんでいた。付近の公衆電話は長蛇の列で、一時間あまり待つ状態。自然科学棟七階にいた人は「揺れた瞬間、机の下にもぐったら、左右の棚やコンピュータが落ちてきた」。木造2階に住んでいた学生は「下宿が崩れ、柱に1時間ほどぶら下がっていた」。「建物がつぶれ、地震後4時間経って救出された」など恐怖の音が聞かれた。

屋前、大学本部の庶務部フロアに集まったメンバーで「神戸大学兵庫県南部地震災害対策本部」を設置。

夕方には、国文生協食堂に避難している学生、市民が二百人を超える。新在家のほうからとんとん人が上がってくる。お年寄りや家族連れが多い。電気が通じて暖房も入っていたので食堂の中に入ってもらう。「豚まん、オニギリと、あるものは売った」と田中店長。



倒壊した阪神高速(東灘区深江本町で。1月17日午前9時半撮影 ニュースネット)

●1月18日
早朝LPGガス漏れで、東灘区南部に避難勧告。

国際文化の生協食堂では、夕方、食堂厨房にまで人が入るようになり、「収拾がつかなくなる恐れがある」(田中店長)ので、体育館に移ってもらい、被災者の対応は大学に一本化。

【本紙第二報】18日夕方6時の情報では、農学部、工学部、国際文化学部にはおよそ千八百人が避難。下宿の倒壊した学生や一般市民が身を寄せている。

うち八百人は夕方5時ごろに市バス石屋川車庫から移って来た人。17日はバスおよそ40台に避難していたが、市バス運転再開の準備のため神大国際文化学部の二つの体育館に移動。ある家族連れは「あかりはついていますが寒いので、毛布がほしい。スナック菓子やおにぎりを分け合っていた。

●全国の大学から救援物資午後6時頃に兵庫教育大



灘区六甲町の西尾荘(3月18日撮影 ニュースネット)



灘区友田町の盛華園アパート(3月21日撮影)

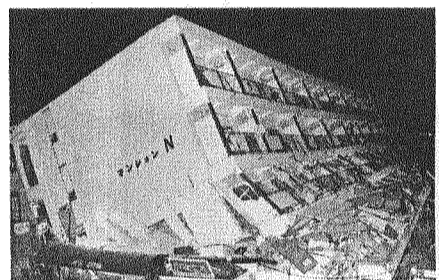
から救援物資。ポリタンクの水、ウーロン茶のペットボトル二十本、ビスケットの段ボール箱百箱、岡山大からも届き、京大、阪大からも届く予定。黒田定男庶務部長の話では「まだまだ食糧が足りない。全国の大

●1月19日
震災救援の自衛隊五百五十人が六甲台グラウンドに駐屯開始。(2月7日)

●1月20日
激震地の一部を気象庁は史上初の震度7と判定。

自衛隊の約五百五十人が発達科学グラウンドに駐屯。(4月26日)

●1月21日
●神大生の死者20人超える
●神大では学生だけで約二十人の死者が出ている模様。



西宮市のマンション(1月17日 共同通信)

神大の下宿街は灘区から東灘区に激震地。学生課の新見博三課長は「各学部で実家に電話を掛け安否を懸命に調べている。電話がつかない」と話す。(本紙特報)

●1月23日
代替バス運行開始。

各地で様々なボランティア活動が始まる中、JR大阪駅前、神戸大学生有志の会による募金活動が、始まった。(KUBC・UNN)

断腸の思い

前学長・鈴木正裕

入れたが、その救済にあたる教職員自身が被災者であったこと、二つをあげたい。テレビのニュースで「灘、東灘の古い木造家屋は全滅

に近い状況」と聞いて、学生諸君に犠牲者が出たのではないかと案じていたが、大学本部にも三日目ぐらいから、時に具体的な名前を

伴って死者の数が入りだししかもその数は聞くたびに増える一方であった。教師としては聞いてもたってもおれない断腸の思いであった。

被災者をお世話した教職員は、自身の住まいが倒れ時には全壊していた。彼らの目はたちまち落ちくぼみ顎はとがり、(風呂)に入れないので、どす黒い顔色に変わった。最後まで体育館に残られた数家族が、十一月の末、厚い感謝の言葉を残して去られたとき、涙もろくなっていた私の目は、また濡れてしまった。



神戸大学 地震災害対策本部

●1月25日
六甲台の一部で水道復旧。

●1月26日
阪神が青木まで運転再開。

●1月28日
●神大生の犠牲者39人に
これまでに、神大では学生三十九人のほか、名誉教授一人、教職員二人が亡く

●1月29日
●神大生協では、全国の大学生協の義援金で学内グラウンドなどに仮設住宅を建てる案を提出。2月の補導

●2月5日
西宮市浜田公園に医学部救急医療団の救援センター。

●2月6日
●2月10日
●二千四百人に下宿被害
●10日現在、自宅や下宿が全壊の学生が六百十八人、

●学生救援隊が発足
神戸大学学生震災救援隊が正式発足。(救援隊通信)

●2月11日
附属病院の中央診療棟、外来棟でガス復旧。

●2月13日
京大などから図書館復旧の応援職員。17日まで十一大学から来神。(図書館報)

●2月15日
鈴木正裕学長が定年退職官16日から、医学部の西塚泰美教授が就任。(本紙)

●2月20日
自衛隊に替わり、大阪ガスの基地が六甲台グラウンドに(4月10日)。ガスが、六甲台地区の一部で復旧。

●2月23日
●震災研究会が発足
●教官有志が、専門分野を越え研究、交流を進める

●2月26日
●前期入試。阪大、岡山大でも実施。

●2月28日
●卒業式。被災の六人も
六甲台講堂で平成六年卒業式が行われ、震災で亡くなった六人を含む二千六百八十八人が卒業。(本紙)

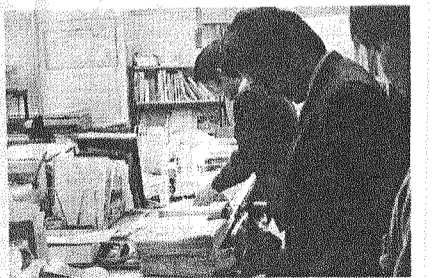
●3月3日
●前日日程で二千四十七人が四倍の難関をくぐり合格

●3月9日
●3月13日
●3月17日
●3月24日
●3月26日

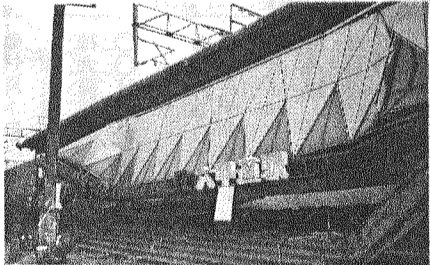
●3月26日
●映研部長の追悼上映会
震災で犠牲となった神大映画研究部Rick'sの前部長、中村公治さんの追悼上映会が六甲台講堂で行われた。中村さんが生前監督を務め、完成を楽しみにしていた作品など三作品を上映。中村さんは灘区六甲町の下宿が倒壊、友人が助けようとしたが、迫る炎に力つきなくなった。(本紙)



本紙特報が貼り出される。(1月27日 六甲台)



読書が始まる(1月27日法学部)



JR六甲道駅(1月19日 ニュースネット)



中村公治追悼上映会(3月26日六甲台講堂)

悲しみの淵から、復旧、復興へ……

●4月1日
東海道線で運転再開。倒壊した六甲道駅も復旧。山陽新幹線は8日に全線開通。

●4月3日
神大を会場に、震災特例入試をD日程で実施。

●4月5日
一時は五十人いた発達科学部会議室の避難所が解消。

●4月6日
大学構内で入学式。交通機関が復旧していないため、六甲台講堂で入学式。特別入試の二十六人を含む二千七百八十七人が入学。志願者は前年度比で二千九百人、二二%増。(本紙)

●4月10日
関学などが授業開始を遅らせるなか、神大は例年どおり今日から授業を開始。

●4月13日
「神大生のボランティア活動」をテーマに集会所が法学部会議室で開かれる。教官や学生ら約百人が集まる。

●4月23日
文学部の野村亮太郎教授(48)自然地理学の乗ったバイクが、灘区高羽町の交差点でトラックと衝突、死去。墓石倒壊から地震の地形的研究を研究。連日バイクで調査中だった。震災研究会の呼びかけ人。

●4月26日
自衛隊、神大から撤収。発達科学部の自衛隊が撤収。すぐ北側の住宅のベランダには「自衛隊のみなさんありがとう」との横断幕が。

●5月10日
総ボラ・センター設立。神大のボランティアの統一窓口をつくらうと、発起人の学生四人が神戸大学総合ボランティアセンターを設立。公認団体をめざす。

●6月12日
阪急が全線運転再開。

●6月17日
京大・吉田グラウンドで行われた硬式野球神京戦で、神大は3-1で京大に快勝。(本紙)

●6月26日
阪神が全線運転再開。

●ボランテアシンポ
ボランテア総合センターが主催して、文学部で仮

神戸大学のみなさまへ

私たちは震災以来、神戸大学・体育館で避難生活を送っていましたが、お陰さまで11月30日をもって避難所から引き上げる事ができました。震災に遭ってから充足感のない不安な日々が過ぎ先が見えない苛立ちばかりが先走っていましたが、ようやく仮設住宅に入居することが叶い、長い避難生活に終わりをつけ、落ち着きをとりのどしたところです。

あのとき、一瞬にして神戸の街は崩壊。見渡すかぎり家屋が微塵にも叩き潰され、私たちは家を失い、家族を失い、平穏な生活を奪われました。私たちは水と食料を求め廃墟の街をさまよひ、石屋川バス車庫に緊急避難し、余震におびえ、落ち着き先もなく途方にふてくされていたところ、大学は私たちが体育館へ避難することを受け入れてくださいました。神戸大学のみなさんは、着のみ着のままの私たちのため、毛布や食料など救援物資の調達などに奔走していただき、物心両面から私たちに支えて下さいました。私たちは学生のみなさんが使用する体育館を使い大変ご迷惑をお掛けしたにもかかわらず、多くの学生さんが私たちにやさしく励ましてくださいました。生涯忘れることはできません。長い間お世話になり心からお礼申し上げます。私たちが自立への道を開くことができたのも、ひとえに皆さまの支えがあればこそでした。本当にありがとうございます。

1995年11月30日
体育館・避難所 一同

●6月29日
「第35回三大学体育大会」が、大市大で開幕。(市大ジャーナルUNN)

●8月20日
ピーク時に二百二十人の被災者が暮らしていた工学部会議室の避難所が解消。

●9月2日
神戸国際会議場で、医学部主催のシンポジウム「これからの災害・救急医学―大震災の経験から―」開催。

●9月7日
「どうなる避難所」

●9月20日
国文グラウンドの北西隅の避難所の風呂「出合いの湯」解体。サッカーゴールに青いビニールシートをか

●8月20日、神戸市は約二百五十箇所あった避難所への食料の配給を止め、十数箇所の「待機所」に集約。灘区には現在七百八十七人の避難者がいるが、定員を三百人とした待機所が一カ所あるだけ。以前の避難所が「旧避難所」として二十六カ所残っている。神大国際文化体育館もその一つで、7日現在で九世帯十七人が生活している。

●9月25日
農学部の被災者が退出。一時は会議室などに百六十人が避難していた。

●9月26日
震災の教訓を都市の防災に生かそうという学部を越えた震災研究会の一回目の集いが、「活断層と地震」をテーマに行われた。

●10月27日
救援隊と総合ボラ・センターの公開討論会「次のステップのために、今までの振り返って」が開かれる。

●10月30日
六甲台の人文・社会科学系図書館に震災文庫が開設。震災関連の資料収集を学内外に呼びかけていたもの。

●10月31日
瀧川記念学術交流会館で第2回震災研究会。



国際文化学部避難所(1月27日撮影 ニュースネット)

●11月1日
神大震災研究会が、「阪神大震災研究1―大震災100日の軌跡―」を刊行。

●11月8日
プレ六甲祭は、メイン六甲ビルが全半壊して、一部取り壊し工事中のため、今年会場を工学部グラウンドに移して行われた。(本紙)

●11月11日
十一、十二の両日、第十六回六甲祭が開かれた。鶴久政治コンサートに観客が押し寄せ、模擬店百四十二店は一時ガラガラ。一方、大谷昭宏さんらを招いた、震災報道の講演会は、観客が二十数人という少な

●11月25日
「厳夜祭」が開幕。元神戸新聞編集委員・酒井道雄さんの講演「続神戸発 阪神大震災以後」など開催。

●12月10日
西宮球場で行われた関西学生アメフト秋季リーグ入れ替え戦の神戸―同大戦は、同大が5-8と逆転。1部復帰ならず。(本紙特報)

●12月17日
男子ラクロス全日本準々決勝。東京・江戸川区陸上競技場で行われた第6回ラクロス全日本選手権決勝男子で、

●12月27日
兵庫県などは、震災で亡くなった人の数を、災害弔慰金支給者を基にした数に犠牲者は六千三百八人に。

●1月5日
村山首相が突然の退陣表明。「やることはやった」

●1月17日
農学部大教室で特別講演会。多淵副学長の「震災と大学」五百旗頭法学部教授の「震災と行政」丸谷経済学部教授の「震災と経済」

●11月11日
三家族八人が仮設住宅などへ移転。震災直後は、国際文化だけで千六百八十七人の被災者が避難していたが、神大内のすべての待機所が役目を終えた。(本紙)

●12月27日
神大は慶応に猛追。7-6で惜しくも王座を逃した。神大は「がんばろう神戸」の腕章をつけ出場(本紙特報)

総合ボランティアセンター

代表・稲村和美

震災ボランティアの学生が、新学期学生が始まって潮がひきはじめた頃、情報もバラバラなので神大のボランティアの統一窓口をつくらうというこ

ふつうの大学生が、サークルやバイトと両立できる、そんなボランティア

神大は慶応に猛追。7-6で惜しくも王座を逃した。神大は「がんばろう神戸」の腕章をつけ出場(本紙特報)

兵庫県などは、震災で亡くなった人の数を、災害弔慰金支給者を基にした数に犠牲者は六千三百八人に。

村山首相が突然の退陣表明。「やることはやった」

農学部大教室で特別講演会。多淵副学長の「震災と大学」五百旗頭法学部教授の「震災と行政」丸谷経済学部教授の「震災と経済」

神大震災研究会が、「阪神大震災研究1―大震災100日の軌跡―」を刊行。

プレ六甲祭は、メイン六甲ビルが全半壊して、一部取り壊し工事中のため、今年会場を工学部グラウンドに移して行われた。(本紙)

十一、十二の両日、第十六回六甲祭が開かれた。鶴久政治コンサートに観客が押し寄せ、模擬店百四十二店は一時ガラガラ。一方、大谷昭宏さんらを招いた、震災報道の講演会は、観客が二十数人という少な



発達科学部に駐屯する自衛隊(2月8日)



―山王仮設住宅(96年1月6日)

神戸大学学生震災救援隊

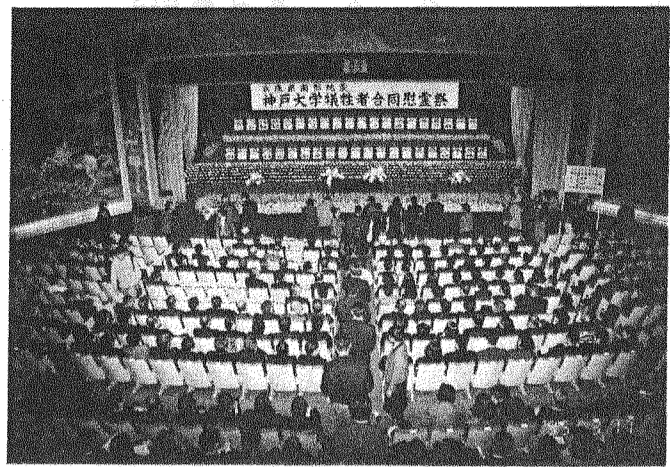
代表・江口幸一

避難所は物資が届くのに、テント村には来ない。それで、テント村中心に物資の運搬をしました。最初は十人くらいから出発。二月九日に「ニュースステーション」に出

これから反響がすごかった。現在も毎月何かの行事をしています。ガムシヤラにやってきました。今後は組織としての運営を考えていかなばと考えてます。

あなたのことを忘れない

神戸大学 四十四人への追悼手記



兵庫県南部地震 神戸大学犠牲者合同慰霊祭(1995年3月17日) 神戸大学講堂 撮影=大学本部

突然の、大きな揺れに見舞われた、あの一月十七日から一年。

大学は、四月の新学期からは、ほぼ平常の活動に戻ったかみえている。新入生が入学し、前期試験が行われ、就職戦線がほぼ決着し、学園祭も多くの人を集めた。

学内では、地質学、建築学、社会学などさまざまな見地から、多くの教官が震災の研究を続けている。学生達も、ボランティアに参加している。神戸大学は、被災地の大学として、全国からも注目を集めるなか、研究機関として大学としてその責務をはたしつつある。

ただ、私達は、今、なにかを忘れてはいないだろうか。あの日に亡くなった、わたしたちの友人、同僚のみなさんのことを。

私達と同じ時を、この大学で過ごしたことを、ここにとどめておきたいと思う。(文中敬称略。一九九五年一月十七日現在のパーソナルデータです。)

法学部 (六人)



二回生のサマーコンサートで、中央のバスクラリネットを担当しているのが工藤さん。

工藤 純(23)

学部学年II法・院一年
学科ゼミII犬童ゼミ
出身高校II愛媛県立三島高等学校
被災地II神戸市東灘区田中町4-4-122

◎母・工藤延子 (愛媛県在住)

あれはいつのことだったでしょう。帰省中の彼が本棚から『大統領の英語』を見つけて持って帰ったことがありました。買ったまま埃を被っていた本でしたが、なくなると寂しいもので、また同じ本を買いました。その次帰省したとき「なんだ、また買ったの。返すんだっけ」と言いながらページをめくり「やっぱりケネディがいいよね」と申しました。「どこか覚

櫻井英二(22)

学部学年II法・四年
学科ゼミII阿部ゼミ
出身高校II愛媛県立八幡浜高等学校
被災地II神戸市灘区六甲町5-7-18安田文化1階5号室

◎母・櫻井幸子 (談II愛媛県在住)

やさしい子でした。一人っ子でした。残念で残念でならんです。

お正月に帰って来て、今度就職したら、地元に戻るから、ゆうてね。伊予銀行に内定していました。両親が弱ったら、近くの(八幡浜の)伊予銀行に配属してもらおう、言うてました。

あの日、大家さんから

森 涉(22)

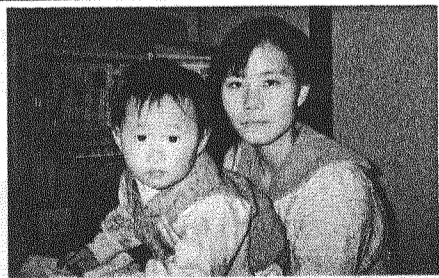
学部学年II法・四年
学科ゼミII五百旗頭ゼミ
出身高校II大阪府立泉陽高等学校
被災地II神戸市東灘区本山中町4-9-17アイーストハイム一階西

◎父・森 茂隆 (大阪府在住)

二階建て木造アパートの一階西端が彼の住居で、玄関脇の小屋と、奥の居間の二部屋。そして小さな台所、風呂、洗面所などで構成されていました。ベッドは玄関脇の小屋に置かれ、そこで熟睡中の息子は、瞬時に崩壊した梁に直撃され、召天しました。前夜、軽音クラブの友人宅で集まって

えた？」と聞いて、どちらからともなく「ASK NOT」で始まる一節を唱え、二人ともそっけなく終わってしまい、互いに認めつつもそれぞれおしまいなのとちょっとがっかりしたものでした。遺体安置所に連れて来られてからなす術もなくただ待たされた二十時間近く、なぜかそのことが思い出されてなりません。

純に対してはただ「ごめんね」と謝るしかありません。もっと安全な所に住まわせてやれなかったこと、もっと早く駆けつけようとしてあげられなかったこと、ほんとうにごめんなさい。自分に対しては「Ask not: Ask what I can do」と繰り返すけれど答えが得られない日々を繰り返して。尊厳死とか脳死、臓器移



妹の子供と。

廣瀬由香(24)

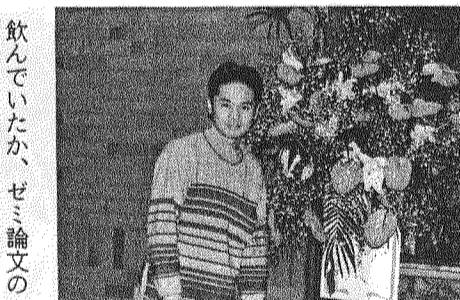
学部学年II法・四年
学科ゼミII櫻村ゼミ
出身高校II愛媛県立宇和島高等学校
被災地II芦屋市三条南町3-7

「ハイ」と右手をあげるのが由香のいつもの挨拶でした。その笑顔が走馬灯のようにクルクルと目に浮かびます。爪がはがれ、血だらけの足をひこするように到着したのは、翌夕の八時頃でした。

建物一つ残っていない場所、私達は息をのみました。本の散乱した家を、娘の家を確認し、ころげるように避難場所へたどり着きました。いない。娘の名前がないのです。

翌朝、ベッドに眠ったままの娘と、愛猫ルナが寄り添うように発見されました。二人とも、ケガ一つした様子もなく、安らかな寝顔でした。ほほずりすると、あの娘のいつも使っているシャンプーの香りがしました。建物の一番大きな梁が、体に落ちていたのです。即死と検視の方に言われました。愛してやまない娘由香は、私達の知らぬ間に、大好きだった猫のルナといっしょに手の届かぬ所へ行っていました。私達夫婦の働きの叫びも残したまま……。

◎母・廣瀬政子 (愛媛県在住)



結果的に生死を分けたのでしょか。運命と言うにはあまりに苛酷です。ただ救いとしては、本人は眠ったまま安らかに天に召されたという事だと、親は自らを納得させています。

ゼミの指導教授、五百旗頭眞先生が告別式に用辞を讀んでくださった中の一節がいつも私達を慰めています。感謝を以て記させていただきます。

『志をもって生きる者の、愛を知る者の目の輝きを持っていた森君こそ、短いが充実した生を築き、充実の最中で、輝きをもって飛び去ることができた幸せ者かもしれません』

遺された私達は、神様の慰めによって一日も早く立ち直ることができるよう祈っています。

飲んでいたか、ゼミ論文の提出が二十日というところで深夜帰宅し何時間か論文に取り組んぞ、恐らく明け方近く就寝したのでしょうか。奥の居間にはホームコタツがあり、そこで仮眠していたら、あるいは助かったのではないかとも思いますが、試験を前にして風邪をひくことを警戒してきちんとベッドに入ったのが、

求む!

文化記者・運動記者・写真部員、広告部員を募集!
お問い合わせは里田まで ☎078-851-1739
神戸大学ニュースネット委員会

法学部つづき

加藤貴光(21)

学部学年II法・二年
 学科ゼミII木村ゼミ
 出身高校II広島県立安古市
 高
 サークルIIISA国際学生
 協会
 被災地II西宮市安井町5
 1-20 Nマンシ
 ヨン6号室

◎母・加藤律子

(談II広島県在住)

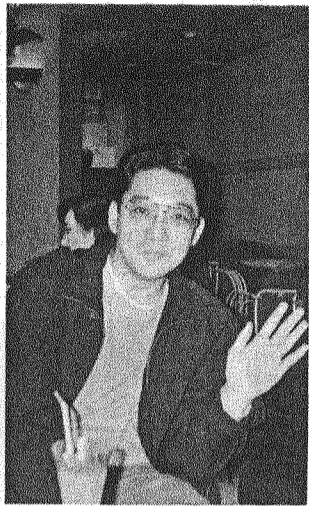
十八日午前十一時三十分の広島-伊丹の臨時便で主人と二人で現地に入りました。倒壊している住宅の間を縫って、息子の生存を信じて主人と二人で歩きました。行ったら、……もう冷たかったです。大学に入るときに買って持たせたグレーのパジャマ姿で亡くなっていました。

高校時代、湾岸戦争の時に「今世界は、国際法が確

立されていなくて国連が機能していない」と言っていました。国際法を確立するのには立ち会いたい、アジア諸国との懸け橋になりたいと。そのために四回生になつたら留学して、外国の大学院で過ごしたいと言っていました。

また勉強だけではなく、人との交流をいっぱいしていました。留学生とも心から通じ合いたいと積極的に接していました。九四年の二月には韓国を訪れて交流を深めました。そこで知った学生さんにお会いしたいと思って先日(九五年十一

月)ソウルに行き、その機会を得ました。彼は「カトウは日本と韓国、アジア、世界の為に素晴らしい働きをしただろう。彼のことは忘れることができない」と言っていました。



94年、ISAで韓国にて。

宮健太郎(21)

学部学年II法・二年
 学科ゼミII根岸ゼミ
 出身高校II千葉県私立市川
 高
 サークルIIビッグアップル
 (テニスサークル)
 会長
 被災地II神戸市灘区友田
 町4-1-19

◎父・二宮博昭

(千葉県在住)

健太郎、元気ですか。今日、お父さんは、お母さんと一緒に千葉の黒砂でテニスをしていたよ。去年、君と一緒にプレーしたあのテニスコートだよ。一九九五年ももうすぐ暮れようとしています。君も好きなテニスをやっているだろうね。

今年の一月十七日、大地震が神戸を襲った。お父さんは、翌日神戸に駆けつけ、下宿の二階に住んでいた君が、無残にも重い柱の下敷きになって冷たくなっていく姿を発見した。フツンの

中で君は何の夢を見ていたんだ。何故、地震を感じて隣の部屋に身を移さなかったんだ。

去年の十二月十六日、灘区友田町にある君の下宿を訪ね、君がビデオ屋さんのバイトから帰って来るのを待って、ビールと一緒に飲んだね。その時、君は神戸大学のテニスサークル(ビッグアップル)の新会長として、目を輝かせて、サークルの運営や将来のことをお父さんに話してくれたね。会うたびに成長し、人生や友人や学問のことを自信をもって語り始める姿に、お父さんは頼もしさを感じていました。君はお父さんに似て、感激派だったからね。あの晩が君と会って話をした最後になった。

君は、二十一歳の短い命だった。無念だったと思う。君が逝って、何カ月もの間お母さんは泣き続けた。大きな声を出して涙を流し続



中央でオートバイにまたがっているのが二宮さん。鶴甲会館の前で。

経営学部(四人)

藤原信宏(22)

学部学年II営・四年
 学科ゼミII森ゼミ
 出身高校II三重県立津高校
 被災地II神戸市東灘区御
 影石町4-19-1
 12 上葉肇方
 の下宿

◎父・藤原宏美

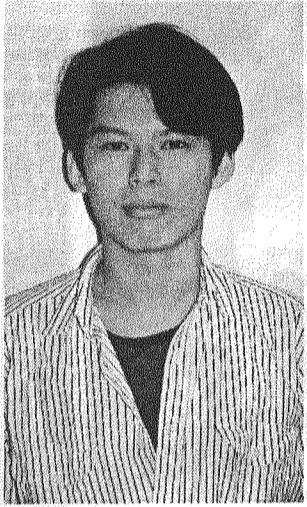
(三重県在住)

「お父さん受かったよ。就職も決まった……こんな電話が信宏からかかったのは、昨年の十月初旬。

ほとんどあきらめていただけに、そのときの嬉しさは……。それからの子供は超多忙だったようである。

大学、卒論、実務補習、就職先の研修と業務従事、自動車免許、新しい下宿探し等々。そのため、年末の帰省も一日のみで、一月の連休に予定していた旅行も遅れていた卒論の遅れで取りやめ……、ここまでが私が知っていた断片的な事実である。

そして悪夢の十七日。古い二階建の下宿。その一階



藤原信宏さん

まさかとは思いつつも連絡はとれず。翌日やっとたどりついた下宿は、二階が一階に。十九日の午後、遺体発見。血と泥にまみれた子供が……。まさに天国から地獄の四か月間であった。

あれから一年。現在、家の仏間には、二十二歳の嬉しそうな写真と、卒業証書

と、会計士試験の合格証が並んでいる。そして、ほぼ完成された卒論のフロッピーと仮免許証も。

子供は、当面の目的としていたものを手に入れ、突然私達の前から姿を消してしまつた。その成果を生かすこともなく永遠に。さぞ残念であつたらうと思う。

しかし、残された者もつらい。運としかいいようがないが、何故なのか。優しい子だったし一生懸命に勉強していた子が、何故死ななければいけないのか。子供が悪くないとすれば、親が悪いのか。何故この答えのない問いかけは、あのとさからずっと続いている。おそろしくこれからも。

『最後に信宏へ。お前は本当によくやった。立派だった。そちらでぐっすり眠り、今までの疲れをいやすえ』

中村公治(21)

学部学年II営・三年
 学科ゼミII本多ゼミ
 出身高校II名古屋市長向陽
 高
 サークルII映画研究部Ri
 cks
 被災地II神戸市灘区六甲
 町2-4-5西
 尾荘1階

◎母・中村房江

(談II愛知県在住)

十七日の屋過ぎに、友人の井口君から電話をいただき、夜に主人が出発して、翌朝神戸に着きました。焼け跡に彼らと一緒に行き、遺骨を拾い、警察へ行きま

けた。きっと君の耳にも届いたと思う。しかし、健太郎。君のように、明るく、思いやりのある友人に恵まれたお陰で、今は元気になつたから安心してテニスを続けてください。君が生きていることがで

きなかった人生は、お父さん、お母さんと君の弟の三人が、心の中に強く生きる君と一緒に、懸命に生きようと思う。これは、君との約束だ。そして、最後に、二十一年間、多くの思い出ありがとう。

した。身元確認ができないって、その日は帰って帰ることができませんでした。火事にならなければ助かったのでは……と思うと、悔やまれます。井口君は、火事になる前に駆けつけてくれ、映研の仲間たちが助けようとしてくれました。声は聞こえたというんですが、火の回りが速かった……。

お正月、あの子と二人で熱田神宮に参拝した後、就職活動のスーツを見るだけ見て、靴を買って。三月に中国旅行から帰ったら、スーツを作ると言っていました。デパートと一緒に買ったのもその時が最後でした。

◎日本板硝子

冬にも夏にも大きな効果!
遮熱高断熱複層ガラス

マルチライト

レイボーグII

◎日本板硝子株式会社

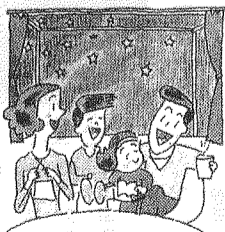
札幌支店 011-241-7171 仙台支店 022-225-7821 関東支店 03-5443-0153 東京支店 03-5443-0127 名古屋支店 052-562-5454
 大阪支店 06-222-7533 広島支店 082-263-3571 福岡支店 092-451-5594 高松営業所 0878-79-1641

四季が鮮やかな国だから
 冬には冬の備えです。



快適ガラスマルチライト・レイボーグII
 の嬉しい出来事。

窓の結露がつきにくい。屋外冷気の伝わりが少なく窓際も暖か。暖房・冷房のムダがないので暖房費も節約できる。紫外線も大幅カットなどがぜん評判がいいので、新築はもちろん既築での採用も増えました。「マルチライト・レイボーグII」今ではもう、日本の住まいの常識です。



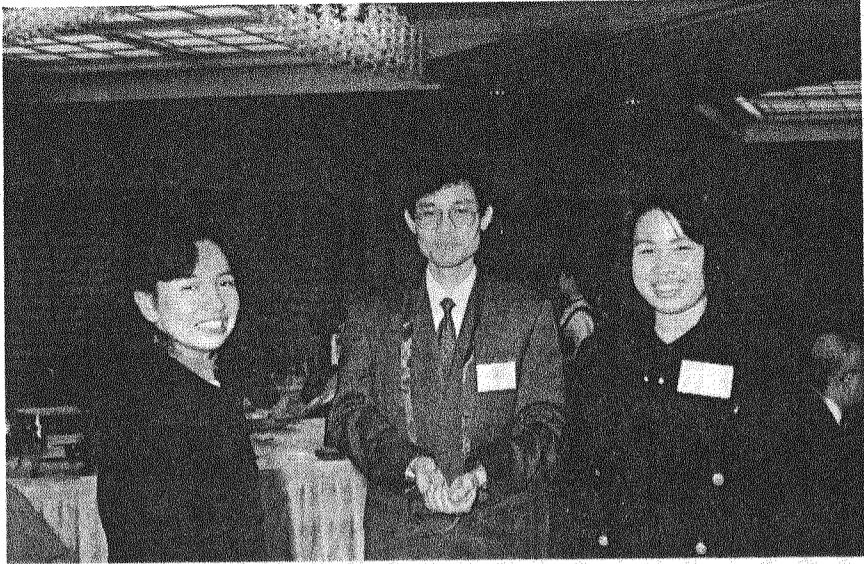
日本板硝子の快適ガラス「マルチライト」は、ほかにも豊富に品揃えされています。地域やご使用状況に合わせてお選びください。

戸梶道夫(20)

学部学年II 営・二年
学科学ゼミII 桜井ゼミ
出身高校II 大阪府立三國丘
高
サークルII バドミントン部
被災地II 神戸市灘区記田
町5-15-4 岩
木文化1号室

◎父・戸梶幸夫
(大阪府在住)

道夫は、高校、大学とす
べて志望の学校に進むこと
ができ、また、スポーツで
も、野球、バドミントンに
打ち込み、その間に素晴らしい友人をつくることも
できました。本当に悔いのない人生だったと思います。
彼は、このように素晴らしい人生を、持ち前の根性
と努力で切り開いてきてく
れました。いつも目標を持
ち、それに対してできる限
りの努力を惜しんでいませ
んでした。今でも、家の彼
の部屋や庭に立つと、勉強
や、バット、ラケットの素
振りに頑張る姿ばかり思
いだされます。彼と話をし
ているといつも生き生きと
しており、私や家内は、逆
にハッピーをかけられてばか
りでした。本当に私どもに
とって何の苦勞もない、申
し分けない息子でありまし
た。彼がこれからどんな人
生を切り開いて、どんな男
になっていったのだろうか
かと思ひ、それを見ること
ができたことばかりが
悔やまれます。
まったく、親バカまるだ
しで息子の自慢ばかり書い



年末の、ロータリークラブ忘年家族例会で。左がスエさん、右がルインさん。

国際文化学部(二人)

キン・テイ・スエ(36)

学部学年II 国際文化学部研
究生
被災地II 神戸市東灘区御
影町郡家字大蔵
2-17 郡家マン
ション105号

ウェイ・モウ・ルイン(35)

学部学年II 国際文化学部研
究生
被災地II 神戸市東灘区御
影町郡家字大蔵
2-17 郡家マン
ション103号

◎発達科学部教授
・美崎教正

ある日、私の所属するロ
ータークラブの友人から
「同業者の社長である知人
がお世話しているミャンマ
ーからの留学生が、神戸大
学で勉強したいと言ってい
るので、話を聞いていただ
けませんか」との依頼があ
り、その社長と二人の女性
と私の研究室でお会いす



呉 婕(21)

学部学年II 営・二年
出身高校II 中国控江中学校
被災地II 神戸市灘区琵琶
町3-17-6
ニュー六甲ビル
106号

◎保証人・井上恵介
(大阪府在住)

聡明で善良だった呉婕は、
二十一歳で天国に帰った。
希望の星である一人娘を、
異郷で生命を奪はれた両親

んやから」
最後になりましたが、道
夫とおつきあいがいただき、
支えて下さった友人の方々、
また震災後、私どもに温か
いお励ましを頂きました皆
様方に、心からのお礼を申
し上げます。

の心中は、察するに余りあ
る。どんな愚鈍でも良い、
親より先に死ぬものではな
い。思いもかけぬ天災、そ
して即死だった事が、せめ
での救いである。

私が呉婕と知り合ったの
は、彼女の来日四ヶ月目、
関西学友会日語学校当時で
関西生命線主催の大阪城公
園での月見大会であった。
なぜか気が合い一週間に一
度は逢って食事をした。孫
ほども歳が違ふのだが、私
の一人娘が呼ぶように「パ
パ」と呼んでくれ、家族の
一員になっていた。休みの
日には、しょっちゅう泊ま
りに来て親友のように夜遅
くまで二人で話した。

には誰も声をかけてくれな
い」と泣いていた。それで
も夏休み頃には友達が「ジ
(ジェイ)ちゃん」と呼ん
でくれていると喜んだ。
「バイト先の人達がとても
親切で楽しい」と感謝もし
ていた。二回生の春、「在
学中にヨーロッパに旅行し
たい。パパも一緒に旅行こ
う」と誘ってくれていた。
「大学院には行かない。
中国と取引のある日本商社
に勤める。早く親孝行がし
たい。もっと広いマンショ
ンを買ってあげるのだ。日
本人とは結婚しない。個人
同志理解できても歴史的習
慣が違うので両親が戸惑う。
インドネシアの華僑がいい。
大金持ちになれるかしら」
可愛い優しい天使であった。
今は唯、呉婕と仲良くし
て下さった方々に感謝を捧
げたい。ありがとうござい
ました。呉婕は今日も私達
の心の中に生きています。
合掌



呉 婕さん

の目的は、同じアジアに位
置するミャンマーと日本の
文化、経済、政治などの隔
たりに関心をいだき、兩國
間のコミュニケーションの
不足がこの格差を生んでい
ると考え、コミュニケーション
論を学び、兩國間の文
化交流と相互理解の推進に
むけ、力になりたいという
夢の達成であった。

が、もうその年も終わりを
告げようとしている。しか
し、一緒にいたいたいたセー
ターは今も私を暖かく包ん
でくれている。
また、ルインさんは、日
本に来てからまだ日が浅い
のに、なぜか早く日本の
風習やしきたりを身につ
け、日本の社会の理解に努
力し、日本人以上にやさし
さ、心くばりをマスターし
ていたようで、手元にある
小生宛の上手な日本語で書
かれた平成七年の年賀はが
きがそれを物語っている。

その住所には、『〒658
神戸市東灘区郡家大蔵2-
17 郡家マンション103』
と記載されている。ここは、
ルインさんの、心ならずも
一生を終えた場所なのだ。
私達ロータリアンは、機
会あるごとに国際理解、国
際交流に奉仕させていただ
きます。

NIB式
進路適性
自己診断テスト

就職活動を有利にするために。

自分は何に向いているのか? どのような能力があるのか?
あなたは果たして100%自覚しているのでしょうか?
就職活動における企業選択のために、面接での自己アピールの
ために、まず客観的な自己分析が必要です。
NIB式適性検査は、産業心理学と統計学の専門家が、その信頼性
を認めたコンピュータ採点による適性テストで多くの企業に採用
試験などで利用されています。

NIB式適性検査を、通常¥4,000のところ、今
なら本誌愛読者にのみ、30%OFFの低価格で ¥2,840

郵便局へ行くだけ
手続き簡単!
お申し込み方法

郵便局所定のブルーの振込用紙(払込
通知票)に、必要事項をご記入の上、
下記までお振り込み下さい。
ご入金を確認後、「自己診断テスト」
をお届します。解答用紙が返送され
次第、コンピューターによる迅速かつ
正確な診断結果を、あなたの元へ責任
を持ってお届けさせていただきます。

口座番号 00980-3-138297
加入者名 日本アイビー株式会社
金額 ¥2,840
(振込料金60円がかかります)

お問い合わせ先

日本アイビー株式会社 自己診断テスト係
〒542 大阪市中央区南船場4-4-21 TEL.06(243)8181

経済学部 (五人)

高見秀樹(21)



成人式から帰ってきた僕は、いつもやっていたように隣の建物である高見さんの部屋に灯りが点っているのを見て、部屋に入ったような気がする。...

学部学年 二・三 学科ゼミ 植松ゼミ 出身高校 鳥取県立米子東高

サークル 応援団長 被災地 神戸市灘区友田町1-1-10 盛華園アパート 2階18号室

◎応援団・岩下昌弘(三年) 一月十六日、夜八時頃、

林 宏典(21)

学部学年 二・二 出身高校 山口県立下関西高

被災地 灘区将軍通一丁目 目安田文化住宅 104号

◎母・林 敬子 (山口県在住)

宏典は、三人兄妹の長男として生まれ、身体の弱い子でしたが、勉強に、運動学級委員、テニス部キャプテンとして一生懸命頑張る子でした。...

後藤大輔(20)

学部学年 二・二 出身高校 福岡県立筑紫ヶ丘高

サークル クイズ研究会 Q UICK 被災地 神戸市灘区神前町1-1-25 吉岡文化一階

◎父・後藤美良 (福岡県在住)

十二月十七日、日曜日、大輔の命日である。家族三人で墓参りに行く。福岡市内を見下ろす太宰府の丘に、真新しい後藤家の墓が神戸を向いて静かに建っている。...

◎応援団・吉田 心 団旗になった高見へ 神戸の街にふさわしい、誇りに思えるすばらしい応援団を築くと誓おう。...

◎応援団・吉岡悦子(三年) 高見さんは会うと必ず声をかけて下さいます。高見さんは書類カバンをいつも持ち歩いていらしゃいます。...

り、近所が火事だというのです。『気をつけるのよ。』と言ったのですが、その声最後の知らせになるとは。地震をテレビで見ると、東灘区が出たので、すぐ神戸に電話をしましたが、通じません。...

はなかったもので、ひと安心しました。次から次へ運ばれて来る遺体を見て、耐えられない日々でした。警察やお医者さんの検査もあり、なかなか山口に帰れません。...



アルバイトをしていた生協の仲間たちと一緒に。中央でVサインをしているのが林さん。

金山朋子(44)

学部学年 二・五 学科ゼミ 上宮ゼミ

被災地 芦屋市前田町内の路上で被災

◎夫・金山 昭 (神戸市在住)

いつものように、犬のハッピの散歩に出ているんです。近所は倒壊家屋も多く、石垣も崩れていて、石垣をユンボで掘って埋め込んで、おらず。...

◎指導教官・上宮正一郎 (神戸経済学部教授) 卒論のテーマは、ドイツの海外旅行がテーマでした。...

高校生の娘と、中学生の息子がおります。専業主婦じゃいやや、自分のしたいことをするんだといってました。...

録ノートとのことであつた。小学校低学年の頃、鉄道の興味を持ち、大阪在住中に関西近郊によく出かけていた。子供への何かのプレゼントに「宮脇俊三の時刻表二万キロ」を買ってあげてから感化されたのか、二万キロ完乗の悪戦苦闘が始まったと思われ。...

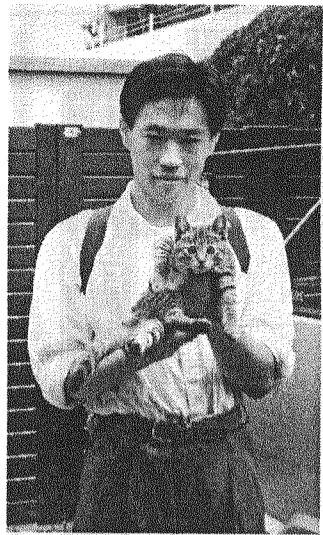
わたくしと年も近かったんで、個人的な相談にのって下さったこともあり、子どもさんの教育にも熱心な方で、私と共通の話もありました。卒業したら、また新しい道を、という話も聞きました。

今までとは違う、学び方。就職準備、留学やプロをめざす方へ。インターであなたの英語が変わります。会議通訳、翻訳、英語専修、ビジネス英語、TOEIC、英検1級・準1級、中国語通訳、フランス語通訳、放送通訳翻訳。4月期生願書受付中/無料公開レッスン実施中/資料無料送付。インタースクール。大阪校 06-372-7551 大阪市北区茶屋町6-23 松柏ビル。京都校 075-256-3685 京都市中京区烏丸通丸太町下ル西側 第7長谷ビル。東京・名古屋・仙台・広島・福岡

クリスマス・お年玉プレゼント。ハガキで応募していただいた方の中から、各大学1名様に商品プレゼント! ハガキに住所、氏名、年齢、大学名、アンケート回答を記入の上、ご応募下さい。アンケート(1)ミニスカートは好きですか?(2)専属モデルの募集をしていますか? クリスマス-12/16消印有効 12/22,23,24店頭発表 お年玉-1/10消印有効 1/13,14,15店頭発表

さあ貴女もチャレンジ!! Jupe's. ジュベスでは、28cm級のあなたの魅力に磨きをかけてくれるミニガサリ揃って1点限りです。特にジュベスオリジナル商品は1点限りで、3千8百円~オーダーメイドでも9千円~手ごろな魅力です。...

白木健介(21)



白木健介さん

学部学年II経II・三年
出身高校II兵庫県立神戸高

サークルII硬式テニス部
被災地II神戸市東灘区郡
家大蔵16の自宅

◎母・白木朋子
(川西市在住)
息子の健介は、二十一歳の青春真只中の若さで、阪神大震災の日、自室のベッドで眠ったまま、非業の死を遂げてしまいました。

隣家の蔵が、離れにあって息子の部屋に倒れてきて、その下敷きになったのです。未曾有の事態に、全身の血が逆流してしまつたかのような衝撃でした。自分なりに人生の計画を立て、それを表現するために着々と努力してきた矢先の事で、この時はばかりは、神も仏もあるものかと思ひました。経済学部の学生でありながら公務員の資格を取得しており、郵便局の仕事もしておりました。その収入で、北陸地方へ旅行することが何よりの楽しみで、特に金沢に魅せられていたようです。加賀友禅のお土産の品々が、悲しげに手元に残りました。仕事柄、金沢の郵便局を訪ねた折、あ

ました。経済学部の学生でありながら公務員の資格を取得しており、郵便局の仕事もしておりました。その収入で、北陸地方へ旅行することが何よりの楽しみで、特に金沢に魅せられていたようです。加賀友禅のお土産の品々が、悲しげに手元に残りました。仕事柄、金沢の郵便局を訪ねた折、あ

まりの美人局員に出会い、保険に加入して帰ってきたというエピソードがあります。旅行好きということもあり、旅行業務主任の資格も取得したばかりでした。大学のテニス部に籍を置いていましたが、やりたいことが多すぎて、そのテニスも最近ではあまりプレーする時間がない事を嘆いて

おりました。『朝茶は縁起がいい』と信じて、なせいかという事も説明済みで、朝食には何はなくとも日本茶でした。あの震災の日も、六時に起こす約束でしたので、もう少し時間がずれていたら、きっと朝茶が飲めて、命拾ひしていたかもしれせん。

教育学部・発達科学部(三人)

上野志乃(20)

学部学年II発達科学・二年
学科ゼミII人間行動表現学
科
出身高校II兵庫県立龍野高
サークルIIマンドリン部
被災地II神戸市灘区琵琶
町3-7-16
ユ一六甲ビル1
0号

◎父・上野政志
(兵庫県在住)
志乃は、自分の死を知らぬまま、友人の川村陽子さんと共に永遠の旅に出掛けてしまいました。一月十六日の夕方、姫新線三日月駅まで連れ(妻)と送って行き「じゃあ、またね」と言

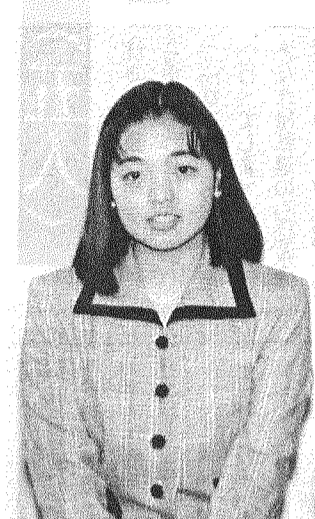
って別れたのが最後でした。考えもしなかった娘の死は、家族を奈落の底に突き落としました。十八日早朝瓦礫の中に友達の名を、次に娘の足を発見しました。今の今まで、生きていてという思いが、この瞬間に断ち切れて、本当に目の前が真っ白になりました。悔しい。無念。心の傷。痛み。忘れられるどころか、周囲の無関心になっていく時の流れとは逆に、いっそう思いは募るのです。

川村陽子(19)

学部学年II発達科学・二年
学科ゼミII人間行動表現学
科
出身高校II兵庫県立長田高
サークルIIスケート部
被災地II神戸市灘区琵琶
町3-7-16
ユ一六甲ビル
101号の上野
志乃さんの下宿
で被災

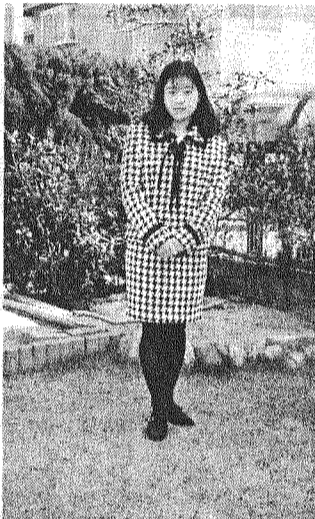
◎母・川村明子
(神戸市在住)
陽子は、自宅通学だったんですが、たまたま震災の前日の夕方、友人の下宿に、課題の共同製作のため、泊まりがけで出掛けていまし

思い出深い品々。場所。全てが二度とない思いにかられ、涙はとめどなく流れるのです。



上野志乃さん

わざわ佐用の地から死に出かけたのでしよう。神戸が好きでした。神戸という街が……。



川村陽子さん

た。そのアパートが全壊し、友人と二人でホームごたつに向かい合い、うつ伏せ状態で、二人ともほぼ即死状態であったようです。このつの上には仕上がつたばかりのレポートが置かれていたそうです。

正直のところ、娘のことを思い出さなかつた日は一日もありません。陽子は、小さい頃から、ものを作ったり絵を描いたりすること

が大好きで、専門科目は本当に楽しんでました。卒業後は、美術科の教員、それとも企業でデザインの仕事をもちたいなどと、色々迷いながらも、将来に夢をもっていたようです。また、大学では、突然フィギュア

瓦礫の下で一日半、検視に丸一日。冷たいパジャマ。連れと涙しながら娘をワゴンに乗せ無言の帰路につき

ました。家族の絆のすばらしさを語り、「一歩ずつ、こつこつと歩いていきたい」と二十歳の言葉を書き残していた娘。ほんの一步で……決して忘れない。せめて私たちが生きている限り。

医学部(二人)

稲井健太郎(22)

学部学年II医・四年
出身高校II徳島県立城ノ内
高
サークルII合気道部、医学部
部合気道部
被災地II神戸市灘区高徳
町1丁目立花荘
1階

◎伯母・稲井紀代子
(京都府在住)
一、案じつ、心はやりつ被災地へ
遺体と書かれし
置き手紙あり
一、こころざし
半ばで逝きし若者は
過疎地医療の
夢果たせずに
一、故郷へ
帰れば必ず呼びかける
逝きし 子の微笑
勇姿忘れず
一、アドレスに



稲井健太郎さん

亡き子の住所と
ダイヤルが
消すに忍びず
そつと そのまゝ
一、慈悲深き吾子の御霊を
甲らわん 桜咲く道
化野の坂
甥は、医師にふさわしい
性格であり、地域で立派な
仕事をしたであろうと思う
と、心痛みます。本人も、
無念の一言でしょう。

磯部純子(21)

学部学年II教育・四年
学科ゼミII初等教育
出身高校II滋賀県立膳所高
被災地II神戸市灘区備後
町2-3
岩田文化

◎母・磯部洋子
(談II滋賀県在住)
お友達と先生方のご協力で、フロッピーが出てきました。自分自身の性格についての研究で、『劣等感と自己開示』というテーマでした。先日まとめて冊子にしていたいただきました。

橋本健吾(20)

学部学年II医・一年
出身高校II岡山白陵高
サークルII医学部サッカー
部
被災地II神戸市灘区中郷
町3-24アパー
ト1階

◎母・橋本智子
(談II兵庫県在住)
当日は、連絡がつかなくて心配だったので、主人が見に行きました。お屋敷には着きました。
住んでいたのは、一階だったんですが、二階が一階になっていました。

DOMINO'S PIZZA DELIVERS. DOMINO'S PIZZA SHOP LIST. 関西地区

理学部 (五人)

沈 (春) (32)

学部学年 理理学部
学科ゼミ 理理学研究科
出身大学 中国東北電力大
被災地 神戸市東灘区本
山南町7-15-1
17吉田荘3号室

保証人・竹部元造

悪夢のようなあの日から、飛ぶように過ぎ去った日々。しかし、私たち家族一同は、沈さんのことをどうしても忘れることができない。わが家の一部損壊や、壊れてしまった思い出の品もあるけれど、それらは取り戻せる。神戸の町も、復興へむけて着実に歩を進めているかのようだ。しかし沈一春さんは、もう帰ってこない。

沈さんの霊へ向かって心から手をあわせ祈りたい。

「沈さん。あなたは遠くへ行ってしまったけれど、あなたは私達の心に永遠に生きています。私達はあなたのことを決して忘れません」

保証人の妻・竹部法子

地震の前日は、論文を書くのに、徹夜していたそうです。ご主人と一緒に部屋にいて、沈さんの上に大きな柱が落ちてきたそうです。ご主人は十時間ぶりに助け出されました。お子さんを、中国のご主人のご両親に預けて勉強させていたのですが、心残りだと思っています。

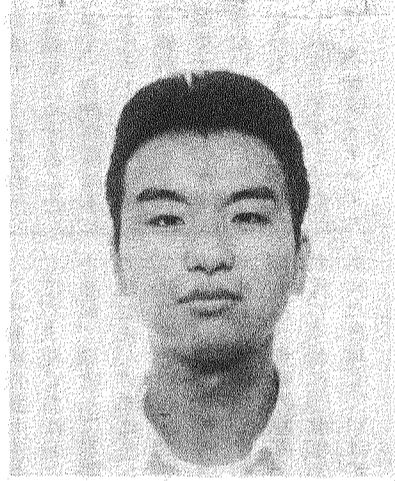
篠塚 真 (21)

学部学年 理・二年
学科ゼミ 物理学科
出身高校 愛媛県立宇和島
東高

被災地 神戸市灘区桜ヶ丘6-10大日荘1階37号

伯父・毛利富雄

悲しみの母由紀子をはじめ



篠塚 真さん

め兄智、他私を含む親戚の者五名が同乗した自家用ワゴン車が、寸断された道路を迂回しながら大渋滞と混乱を繰り返してやつの思いで神戸市郊外にたどりついたのは、四国の自宅を出発してから九時間後の一月十八日午前三時頃だったと思います。十七日、友人の学生の芝さんより甥の真の訃報が届き午後六時、急遽家を出発しましたが、悲痛と焦

燥がつのる中で長い道のりでありました。六甲裏側から市内に入ったように思いますが、各所に火災が発生しビルが道路に倒壊して渋滞が続き大変危険な状態を呈していました。まさに戦禍にさらされた都市を行く感でした。いくつもの大きい瓦礫を乗り越えて、十八日午前七時の芝さんより甥の真の訃報に到着、「生きていて欲しい」とそんな祈りをこめて門をくぐったのですが、無念かな真は十七体の遺体と共にうす暗い安置所に収容されていました。

不測の災禍に消えた真の姿は冷たく哀れでありました。母由紀子が変わりまして我が子の亡骸にすがり、涙する影はあまりにも残酷な形で母子の対面でありました。真の待つている六甲病院に到着、「生きていて欲しい」とそんな祈りをこめて門をくぐったのですが、無念かな真は十七体の遺体と共にうす暗い安置所に収容されていました。目的達成にむけて励んでいたところでした。母を中心家族親戚が大きい期待を寄せた矢先のことで、真の無念さや心、心が痛みます。あの震災の犠牲となられた多くの学生諸君の真福を祈ります。

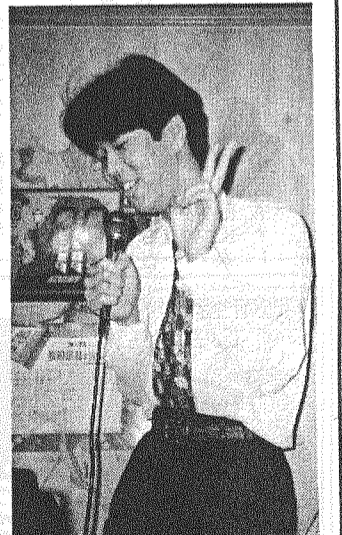
高橋幹弥 (20)

学部学年 理・二年
学科ゼミ 化学
出身高校 大阪府立高津高
サークル ラ・プレンリー

被災地 神戸市東灘区住吉南町5-18-24サニーハイムII 2階J号室

父・高橋昭憲

(談 大阪府在住)



成人式の夜、最後の写真。日前の成人式で撮った写真。目撃者から届いた写真。亡くなった高橋幹弥君の姿が写っています。

築二十年ほどの木造アパート借りていたんやけど。隣の風呂屋の煙突が、部屋にプスッと倒れてきたんです。煉瓦の古い煙突やっただけで、煙突が倒れたら、部屋内と二人で、十八日夜中に出かけて行きました。十九日の朝二時に着いて、部屋を見たんよ。建物は残ってるから、あれー、なんで連絡せえへんのかなあと。そしたら、二階の角のウチの子の部屋がベシヤーと潰れてないんよ。

大きな声で呼んでみても返事がない。東灘署も消防署も相手にしてくれへんし、避難所も見に行っただけで、またアパートに行っただけです。倒れて来てる煙突を、鶏嘴やハンマーで割って、鼻やハンマーで割って、鼻が出血して、洗濯もんが出て来て。こらあ、おるなと。布団がぶつてました。手え突っ込んだら、まだ暖かいんちゃうか、と思って。十九日の昼前かな、消防が

歯原 孝 (20)

学部学年 理・三年
学科ゼミ 地球惑星科学科
出身高校 兵庫県立明石北高

被災地 神戸市灘区備後町2-13岩田文化北棟103号

父・歯原原三

(明石市在住)

先へ何回電話しても通じず、心配していたところへ、友達から電話が入り、着のみのまま飛び出しましたが、山麓ハイパスから三宮に入り、目を覆うばかりの惨状に愕然としました。現地では余震が続く中、友達による必死の救出作業が続けられていました。お蔭で当日の午後五時すぎには遺体を引き出すことが

できました。感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございます。大学では理学部と陸上部に在籍し、地震のことも勉強してたんですね。地震後、家族への配慮で、大学より地質学野外実習レポートが届けられました。安藤露頭の裏習で「……人間の英知が発達しようが決して届くことができない地球の巨大なパワーを……その大きな自然を自らの自らの都合に会

わせ利用しているとは、何と発達した文明だろうと思……ヒトは自分も含め全然なっていないなあ、と深く感じました。……と後ろを振り返ると、サルが子連れで道を横断していた。あのサルは道ができたことで、どれだけ生活様式が変化して行くのだろうかと思う……とありました。いろいろ勉強してきましたですね。大学二年、三年と関西大



歯原 孝さん

ろいろしていただきました。多くの方が高知まで来てくださり、お世話になりました。王子体育館に安置させていただいた時にも、山本先生(工学部教授)やクラブのお友達に見舞っていただきました。思い出の品も研究室の方

工学部 (十人)

清水倫行 (22)

学部学年 工・四年
学科ゼミ 電気電子工学科
山本研究室

被災地 神戸市灘区中郷町3-1-22ア

父・清水正大

(談 高知県在住)

大阪南港に、十八日の朝六時二十分過ぎに高知から着きました。妹(叔母)夫婦が四條畷にいますんで、一緒に西宮北口まで行って三時間近く歩いてアパートへ行きました。実は、フェリーに乗ってる間に大家さんから連絡が入って、『下敷きになっちゃうそうじゃ』

と弟から聞いてました。現場でもずいぶんウロウロして、安置所に運ばれてると聞いたんですか、結局まだ下敷きになってました。夕方、大家さんと五人で掘り出したんです。十八日の夕方五時ぐらいです。壁、ふすま、一階の天井が重なってました。寝てた

んだと思いますが、コタツの中で横向きになってました。そのあと、検視に時間がかかり、十九日の夜中までかかりました。王子体育館だけで三百体近く遺体があつたんじゃないですか。卒業後は、修士のほうへ進むことになっていました。マンドリン部の方にはい

が、アパートから持ち出してくださいます。戻ってまいりました。マンドリン部で演奏したときのカセットも出てきました。

岡本真由子(法三) 私は、マンドリン部で一緒にいた。清水さんが合奏に加わると音に厚みが出

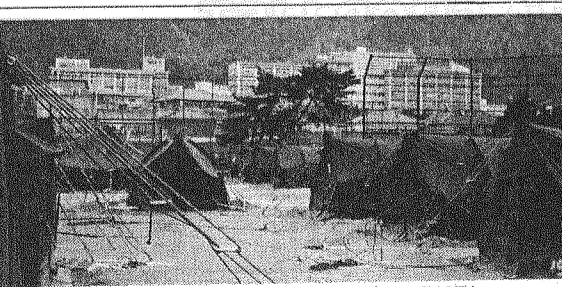
ました。頭がよく、カッコよく、そしてマジシャンが憎らしいほど強かった。下宿で夜中まで続くマジシャンの途中で、低音の楽器のサウンドセロを大きな音で鳴らしていました。それほど楽器に熱中していました。マンドリンのCDを数十枚持っていました。

梶 達雄 (20)

学部学年 理・二年
学科ゼミ 化学科
出身高校 石川県立泉丘高

被災地 神戸市灘区備後町2-13-5岩田文化一階

出してくれました。風呂屋の煙突さえなかつたらねえ。ワイプロ拾って帰ったんですよ。成人式にお金を渡して買ったスーツも、現場に行つて持って帰ってきました。カメラも、共同通信の記者の方が探してくれたり、出てきて。成人式が終わったあと、中学の友達らとカラオケに行った写真が出てきました。最後の写真でした。そのマイクもった写真を、大学の追悼式に使用しました。それまで勉強、勉強でしたから、最後はこんなもんもええか、いうてね。



六甲台グラウンドに駐屯する自衛隊 (1月27日)

神徳史朗(22)

学部学年II工・三年
学科ゼミII建設学科・土木
出身高校II長崎県立長崎南

父・神徳逸郎
(談II長崎県在住)
十八日の昼過ぎに大学の
友達の徳田尚器さんから
『連絡がありましたか?』
と電話があったんです。



自由劇場の仲間と一緒に。右から3人目の白いシャツが神徳さん。

『東大阪からバイクで行って探してみただけです。あ、これはただごとじゃないと思うんで、神戸へ行きまして。飛行機に乗り継いで、十九日夕方、尼崎の弟(叔父)の所に着いたんです。夜九時過ぎに着くと、アパートの前で、友人がたき火をたいて待っていてくれました。『すみません。助け

長尾信二(20)

学部学年II工・二年
学科ゼミII応用化学科
出身高校II愛媛県立松山南

父・長尾邦昭
(香川県在住)
あの日を終生忘れることができません。
息子は、灘区の二階建文化住宅の一階で、落下してきた天井の梁の直撃を受けて短い人生を終わりました。



長尾信二さん

愛媛に住居を移し、以後七年間、中学高校と青春ほとんどを松山で過ごすことになりました。
中学時代は卓球部に籍をおき、運よく受かった松山市内の進学高校に進み、再び野球部に入りました。この間、勉強とスポーツにその全てを投入しました。今考えると、彼の人生は人の何倍もの密度の濃いものであったと思っております。

鈴木伸弘(22)

学部学年II工・三年
学科ゼミII建設学科
出身高校II静岡県立浜松北

父・鈴木 弘
(静岡県在住)
浜松でも地震の揺れで目をさましテレビの報道から目が離せず、息子と電話が通じないまま夜を迎えました。友人からの連絡で翌日早朝、神戸に向かいました。現地は焼野原で想像を絶する光景でした。学校、体育館など何方かの避難所を無我夢中で捜しまわり、大家さんに会うまでは、子供の死はまるで考えられないことでした。



鈴木伸弘さん

最後にになりましたが、神戸大学在学中、お世話くださった先生方、先輩・友人の皆さんに、紙上を借りてお礼申し上げます。
お正月に帰省したとき、進路やスポーツの話、そして、今任んでいる所は、学校も近く、便も良く、静かだ住み良い所だよと言った言葉が、忘れることができません。

坂本竜一(22)

学部学年II工・三年
学科ゼミII応用化学科
出身高校II兵庫県立八鹿高

父・坂本秀夫
(談II兵庫県在住)
竜一は神戸大学にあこがれとったんです。高校時代、神戸へ行って、大学の近くをウロウロして帰ってきたりしたんです。友達もできて、幸せな生活したと思うんです。



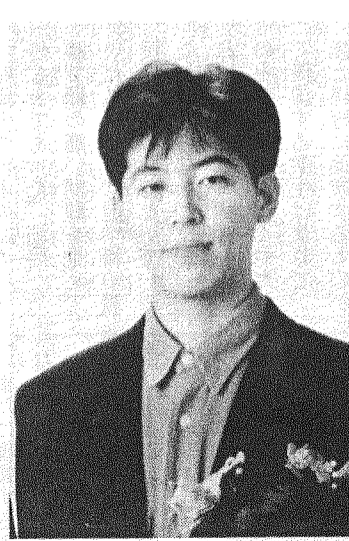
坂本竜一さん

お葬式や初盆には、友達にたくさん来てもらって、お礼の一言もできませんでした。心からお礼を申し上げたい。友達やたら、何十年か竜一の分も生きてもらいたいと思います。

競基弘(23)

学部学年II自然科学研究科
博士前期課程
池田研究室
出身高校II名古屋市立立向陽

父・競 和巳
(愛知県在住)
あの日、息子基弘は、灘区六甲町の二階建て木造文化住宅の一階で就寝中に圧死した。一階はつづれ平屋建ての状態で、翌十八日の午後、救助隊の手で掘り出された。



競基弘さん

もう一日遅く帰っていたら……。
小さい頃から、夢をかなえてくれるロボット『ドラえもん』が好きであった。神大工学部情報知能工学科に進学し、院生一年生の昨秋(九四年)には学会で研究発表したところだった。
勉学の合間に家庭教師や居酒屋でのアルバイト、子ども会のボランティア活動、そして学友達と楽しんだ野球、サッカーの試合など、五年間の神戸での忙しくも充実した生活のことを、多くの友人から聞き、知った。友人に、『僕は今までの人生に悔いはない』と言っていたと、後で聞かされた。彼自身が選択して歩んで来た人生が、自ら選ぶ余地のない結果で、二十三歳の短い一生を終わってしまったのは、親もまた無念である。
父の誕生日の一月、そして母の誕生日である十七日に逝ってしまった。遺品として出てきた彼自身が歌うサザンの『Ya Ya あの時代表を忘れない』のテープのように、いつまでも平成七年一月十七日は、忘れることのできない日となってしまった。
神戸の皆さんに幸いあれ

合掌

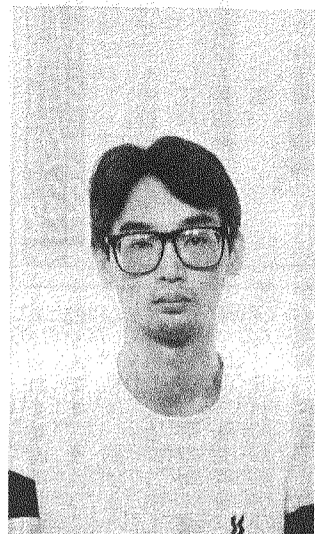
工学部 つづき

榎富浩二(24)

学部学年Ⅱ自然科学研究科
博士前期課程
一年
学科ゼミⅡ電気電子工学科
荒井研究室
出身高校Ⅱ山口県立宇部高
サークルⅡアポロン
被災地Ⅱ神戸市灘区篠原
南町1-6-12
川原アパート1
02号

◎母・榎富夫佐子 (山口県在住)

一月十七日早朝、私は病院のベッドの軋む音に目覚め、すぐラジオのスイッチを入れる。地震とのことテレビに切り替える。神戸……もしやと思わずすぐTELをする。呼び出すが応答なし。もしや……どうにかベルが鳴る。生きていて生きていてと心で叫びつつ、管理人、近所とベルは鳴れど応答なし。六時すぎ……だんだんつながらない……。昼過ぎ、近所の電器店につながる。『榎富はいますか』『榎富君の部屋の上にアパートの二階が落ちています』。絶句……。『バイクアリマスカ』『アリマスカ』……。どこからか、僕生きてるとTELしないかと。TELのそばでつきっきりで



榎富浩二さん

待つ……。十八日昼過ぎ。友達から足先が出たとの連絡。今度は早く行くことを考える。

弟(故人の叔父)が大阪より岡山まで迎えに来てくれ、六甲トンネルを抜けて現場に……。目を覆うばかりの惨状。ガレキの山の中に、足先だけがわずかに……ろう人形の様な青白い指先が……。残酷。手のほどこし様もない。太い家の梁を胸に受け、キチント布団の中に……眠るように。『胸部圧迫窒息死』。柱は抜け落ち、通し柱は縦に裂け。地震発生後四分、死亡推定。なんとむごい。涙すら出ない。

後日、プレート上で直下1m落ちていたという教官の話の話を伺った。お友達、学生さん、近所の方のお力添えがなければ、さすがにすらすらできなかったと……。その後すぐ、自衛隊の方の助けで、四時間かかって掘り出してくださいました。思わず、ありがとうございます。ありがとうございました。親として、学業半ばにしてあまりにも残酷。無念であつたらうと。『おかあさん。僕は神大に入って良かったよ』。あの優しい声のひびきが今も耳に残っています。

今 英人(23)

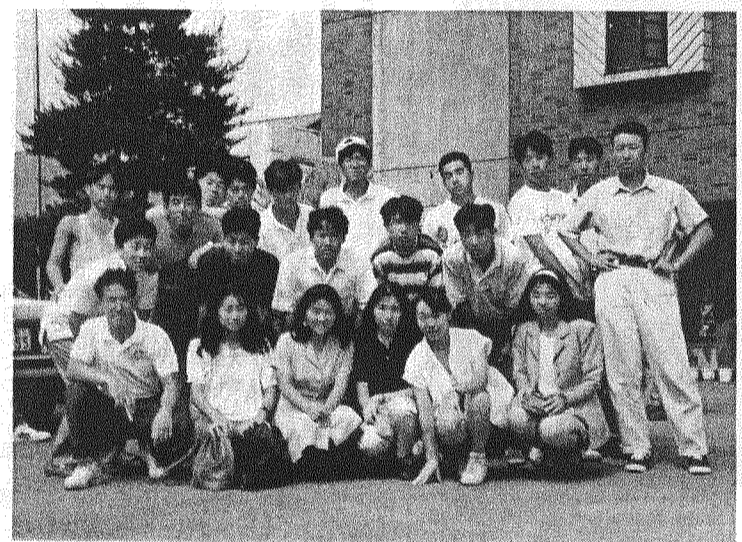
学部学年Ⅱ自然科学研究科
博士前期課程
一年
学科ゼミⅡ吉田研究室
出身高校Ⅱ石川県立泉丘高
出身大学Ⅱ神戸大学工学部
機械工学科
サークルⅡ軟式庭球同好会
スキー同好会、
湧源クラブ(広
中平祐数理ゼミ)
被災地Ⅱ神戸市東灘区西
平野字平野8井
上純一 方一階

◎父・今 英男

あれから一年を迎えようとしています。何が何やら……という間に。石川県は、震災のニュースも少ないので、以外と半信半疑に後には忘れがちになる情報です。私共は出版される震災のニュース雑誌はいつの間にか買ってしまったが、私共の顔も知られていないため、コソリと知らぬ本屋に言ったりします。情けないですネ。

スポーツが好きで、テニス同好会、スキーなどいろいろなイベントに参加したときや、練習風景などのビデオを送ってくださったたりして、何ともつらいですが、ありがたい貴重なものです。持ち帰った息子の衣類や本や、道具など、土の中から掘り出したものも、まだそのままだものが多いのです。母親など、洗濯すると息子の匂いが消えるといつて、彼の部屋は整理もいまままあげてあります。

あのとき、息子を捜して手がつけられなかった時間帯は、私達は何をしていたのでしょうか。また、レスキュー隊の一名の方が発見して下さり、救出できずに待っていたあの一昼夜近くは、何をしていたのでしょうか? 生きていたのうかが先だとはわかっていても、自分の息子を出すことができない、姿も見ることができなかったあの時間は……。(一年たつ)一月十七日は神戸に行くかと話をしていますが、行きたいという気持ちと、何かでその気持ちを引き留めるようで、まだ決めていません。たくさんの方にお世話になって、あんな折ですからお礼の言葉もかけないままに過ごした人々も、今はどうしておられるやら。息子が救出されたとき、一瞬だったらしく何のキズも受けず、二階の建物の下敷きでした。フトンに入って手も出さず、寝たまの姿でした。本人はまったくの事象を気づかなかつたのかもしれない。美しい姿のまま……。あの日は満月でしたネ。



テニスサークルの仲間と一緒に。一番右が今さん。

満月の頃は、月を見るのが本当にうれしいです。現場の車の中で月ばかり見て、夜をすこしましたから。本当に、キリのない話になります。現地の皆様のご健康を祈り、いまや私共の心の故郷になった、神戸そして阪神など、一日も早い復興を心から祈ってやみません。

から神戸大学へ研究生として来ました。日本に留学するきっかけとなったのは天津大学で教授をしている彼のお父さんです。以前東大に留学されていたこともあり、息子の傳さんにも日本への留学を勧めたそうです。日本で修士号を取得した後にはアメリカイギリスに渡って博士号を取りたい、と言っていました。

母 志斌(28)

学部学年Ⅱ自然科学研究科
研究生
学科ゼミⅡ機械工学
出身高校Ⅱ中国ハルビン工学院
被災地Ⅱ神戸市灘区徳井
町4-3-7

◎妹・母 雅琳 (談Ⅱ明石市在住)

大連で機械の研究所に勤めていました。どうしても日本で勉強したいと希望したので、私の夫が保証人になりました。三年前に来日。最初研究生として入りましたが、試験に合格して、春からは研修生になるはずでした。

大連のお母さんに電話しても、お兄さんからの連絡がないので、ちょっとおかしいなと思いました。十八日の夜になってまだだいいので、あわてました。十九日の朝、主人と一緒に、お兄さんのところへ行きました。午後二時ごろ着いて、周りの人に、ここで

亡くなった人いるんですかと聞いても「大丈夫」という人もいて、避難所を探しました。いないので、戻ってまわりの人に聞いたら、「その下に亡くなっている人が絶対いる」という女性がいて、お兄さんだめかと思いましたが、四日目の昼頃、掘り出されました。倉敷で火葬して、二十一日に大連にお骨をもって帰りました。母は泣くばかりで、話できませんでした。無念ですね。私と一緒に住んでいたらよかったのに。命が短かったですね。まだ人生いろいろやることあったのに。

農学部 (一人)

細井里美(20)

学部学年Ⅱ農・二年
学科ゼミⅡ生産環境情報学科
科・堀尾研究室
出身高校Ⅱ近大付属新宮高
サークルⅡ茶華道部・ユースサイクリング
同好会
被災地Ⅱ神戸市灘区篠原
町2-13-18 岩
田文化住宅一階

◎母・細井有紀子 (談Ⅱ和歌山県在住)

でも、おるといふ気がして遠く離れていたんで、今でも、もう一年の延長希望が出されたので、土田教授も私もソレハダメよというところ、それなら先生の退官と同時に帰国します」と粘られ、半年の延長に拒否する理由も見当たらず九五年三月には帰国する予定で、勉強を続けた。一月十一日には、世話好きの妻の主催で、神戸オリエンタルホテルで、他の中国人留学生とともに日本の一流のお雑煮パーティーを催し、曹君には夫婦仲良くという訓示を与えたが、災難時も夫婦一緒であったという計報に、慚愧の念に絶えない。思い残すことがかりである。そのときの写真はまだフィルムのまま、いまだに現像する気になれない。

から神戸大学へ研究生として来ました。日本に留学するきっかけとなったのは天津大学で教授をしている彼のお父さんです。以前東大に留学されていたこともあり、息子の傳さんにも日本への留学を勧めたそうです。日本で修士号を取得した後にはアメリカイギリスに渡って博士号を取りたい、と言っていました。



解体が進むそごうデパート(4月17日)

宅して寝たそうです。それが運命を分けたのです。傳さんには中国に残してきた彼女がいました。たまたまに電話していたようです。「学位を取らなくていいから、早く中国に帰って来て」と彼女はいつも電話の向こうで泣いていたそうです。彼は来日してから一度も中国に帰っていませんでしたから。



橋本健吾さん(医学部)

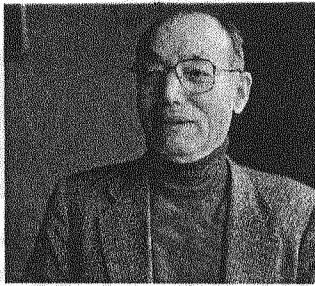
である。とりあえず退官の時期を話してお断りしたが、『まだ一年半ありますね。一年だけならお考えいただけませんか?』というところで、孫君からも誓約書をとって、一年が経過した。その間、曹君はよく勉強し、『ゲル被膜種子の利用』により野菜の生産技術を改善するための基礎研究に没頭した。この研究では、共同研究者である神戸大学の先輩が一九九五年四月に学会賞を受賞している。ところが、一年目の途中でもう一年の延長希望が出されたので、土田教授も私もソレハダメよというところ、それなら先生の退官と同時に帰国します」と粘られ、半年の延長に拒否する理由も見当たらず九五年三月には帰国する予定で、勉強を続けた。一月十一日には、世話好きの妻の主催で、神戸オリエンタルホテルで、他の中国人留学生とともに日本の一流のお雑煮パーティーを催し、曹君には夫婦仲良くという訓示を与えたが、災難時も夫婦一緒であったという計報に、慚愧の念に絶えない。思い残すことがかりである。そのときの写真はまだフィルムのまま、いまだに現像する気になれない。

教職員(三人)

松田和久(70)

所 属 経営学部名誉教授 神戸学院大 教授 被災地 神戸市兵庫区上 沢通8-6-5 の自宅

◎神戸大学経営学部助教授・久本久男 松田さんが生涯を通して考えたことは三つあります。労働生産性の測定、利潤率の意義、そして歯科医療の経済学です。地震まではこの歯科医療問題を研究して



松田夫妻



おり、地震のあった一月十七日火曜の前日に新しい論文を完成していました。地震後、ご家族の方、得津さん(経営学部教授)、神戸学院大学の関係者が松田さんの無事を確認するため自宅に電話を掛けました。しかし、呼出音が鳴るだけで受話器を取る人はいませんでした。得津さんと私は、松田さんがご家族のいる姫路あたりにすでに避難しているのであらうと思っていました。しかし、ご家族の方から十

九日に松田夫妻の死亡が確認されたという連絡がありました。地震から十日経過した頃に、私は松田さんの自宅がある兵庫区上沢通を訪ねました。自宅から南西方向のすべての家は全壊していて、松田さんの家は屋根が完全に落ち、一枚の板のようになっていました。近所の方に話を聞くと、十七、十八日と松田夫妻の姿が見えず、十九日に崩れた家を警察が掘り起こしてみると遺体が発見されたというので、崩れた屋根の状態を見て松田夫妻が即死であったと判断できました。

もし松田さんが生きておられれば、つぎのように言うのではないかと推測します。「日本のように生産力が高い国において、この程度の地震でなぜ六千人の人々が死亡し、なぜこれほど多くの人がひどい避難生活をしなければならぬのであろうか？」

朝倉純子(46)



所 属 理学部助手 被災地 神戸市灘区桜ヶ丘3-18-8-1 1楼ケ丘ハイツ

◎理学部教授・中村昇 朝倉純子さんは、地震当

時 灘区桜ヶ丘のマンションにお父さん(朝倉昇持氏)と同居されていた。長男・宏君は帯広畜産大学二年(当時)で勉学中であった。読書好きな純子さんのベッド脇の本棚には、たくさん本が並べられていた。突然のマンション倒壊で、朝倉さんは、書棚と本の下敷きになり、一命はとりとめたものの間もなく入院先の六甲病院で亡くなりました。

朝倉さんは、昭和四十六年奈良女子大を卒業し、住友化学工業に勤務。その後、五十年神戸大学地球科学科に教務職員として赴任。平成五年に助手に昇格した。赴任当時は、地球科学科

中條聖子(29)

所 属 医学部第三内科 医師 出身大学 島根医科大学 出身高校 兵庫県立神戸高 被災地 神戸市東灘区魚崎町2-4-25 の自宅

◎姉・中條鉄子 (医師 大阪府在住) いつも笑い声の絶えない聖子は、皆から随分慕われ「先生は大勢の人の命や心を救ったのに」と、心底惜しまれました。患者さんやご家族からは「末期癌の主人は、朝に夕に先生が来てくれるのに勇気を頂、頑張りました」など、数多のお便り、電話も頂きました。一方少女のころの夢を忘れず、忙しい医療の合間に童話や詩、エッセイ、イラストなどをかき続けた妹。十数年前、人形作家の川本喜八郎先生の人形劇「三國志」に出会い、彼女は諸葛孔明の優れた人間性がその人形に鮮明に写されているの

に感動し、以来、先生の世に心酔しました。NHKで人形劇・平家物語が始まり、妹は放送のたびに毎日手紙を書きました。この一途な気持ちが通じ、この度川本先生が、妹の為に諸葛孔明の優れた人間性がその人形に鮮明に写されているの

孔明のお人形を作ってくださいました。先生のご厚情に感激しています。聖子の命の証として、彼女の残した作品を形あるものとして彼女の夢や希望、懸命に頑張った青春を永遠に輝かせてやるのが、わたしたち家族の使命と考えています

◎友人・奥田志保 (医学部院生 神戸市在住) 聖子さんは大きな腫と、腰まで伸びたまっすぐな髪がチャームポイントの美しい人で、誠実で飾らない人柄から、上司の先生方、同僚、患者さんを含め、多くの人から信頼を集めていました。日々の診療に追われる中で、個々の症例について詳細に検討し、学会でも数多くの発表をしていました。どんなことでも親身にやり相談ののってくれるかけがえのない親友でした。

◎同僚・清水和彦(付属病院第三内科 神戸市在住) 研修医時代、夜遅く隣でカルテを書いていると、彼女は段々と机にもたれ、目が虚ろになり、カルテの文字が歪んでゆき、机に伏してしまふのです。「チュウさん、チュウさん」と揺り起こそうとするも「もう、止めて。邪魔しないでよ」と叱られるのです。だが名付けるともなく「眠り姫」と呼ばれるようになりました。その後、仕事に慣れて、重症の患者さんの状態を尋ねても、「大丈夫、パッチリよ」が口癖でした。そんな時には、決まってVサインを出しながら、長い髪を揺らし目を細めて微笑むのです。今でも胸に浮かびます。

生協職員(二人)

茶本潔代子(55)



茶本潔代子さん

所 属 生協パート職員 被災地 神戸市灘区桜ヶ丘町6-4 ◎カフェリア勤務・岡田淀子(神戸市在住) 私が大学の生協にパート

として入社いたしましたとき、背の高い美しい宝塚美人のような奥様がいらっしやいました。それが、茶本さんでした。それはそれは仕事もテキパキとよくでき、まわりの人達への気配り：

ました。國澤さんは、六甲道の近くで、非常に危険だと思いましたが、きちょうめんな方だったので、何かあったら(店に)上がってくださるはずなのに、おかし

思いました。国澤さんは、六甲道の近くで、非常に危険だと思いましたが、きちょうめんな方だったので、何かあったら(店に)上がってくださるはずなのに、おかし

。カフェリアにはなくてはならない方でした。お友達にさせていただきまして、いろんな出来事を時間のたつのも忘れて話しておりました。この手記を書かせていただいておりますと、お顔が目につかび、ペンが前に進みません。

一月十七日午前五時四十五分。あの悪夢のような阪神大震災という出来事。忘れることはできません。茶本さんの娘さんに初めてのお子さんができ、十五日まで娘さんは神戸の実家に帰っておられ、十六日には三田市の娘さんの家へ送って行かれ、帰られてすぐに震災に遭われました。あと一日娘さんの家に泊

りました。声をかけたんです。翌日から、組織部の学生も出て、三日がかりで、二十人くらいで掘りました。畳をはがして、モルタルどけて。ようやくベッドにたどり着いて、一人が暖かい肌になれるまで。レスキュー隊を、亡くなっているとわかると後回しにされるので、『生き埋めになって』と呼んで来て、掘り出したら……やっぱり彼女でした。確認したのが、二十日の午後一時、収容されたのが四時か四時半くらいでした。

まっていればと……。色々考えますと、運命のいたずらに、ただただ残念です。ご家族の皆様は、いかに

まだ大学でお仕事をすることを楽しみにしておられましたが、寂しくなりましたが、皆様で茶本さんの分まで一生懸命頑張って仕事をすることが茶本さんの供養になるはずと話しております。天国で、家をなくしたぐら

いは我慢しない……。と言っている茶本の優しい笑顔が浮かびます。これからの人生、奥様の分までご家族力をあわせて頑張ってくださいませ。一生あの忌まわしい震災をわたしたちは忘れることはないでしょう。

國澤美輪(32)

所 属 生協ランスポックス勤務 被災地 神戸市灘区下河原通2-13-1 5第二泉山荘

生協勤務・西村穂祐

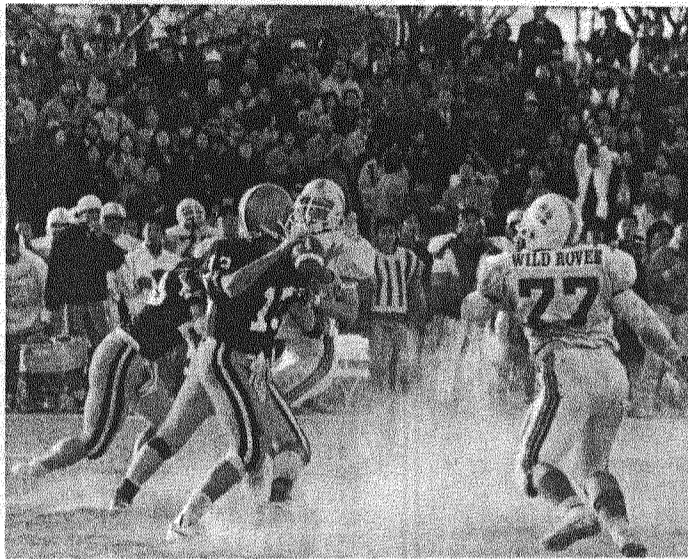
(談 神戸市在住) 國澤さんは、ランスポックスのオープンとほぼ同じ時期、八五年だと思えます。そのころから生協にお勤めでした。理工学書や文具などを扱うレジでの接客が中心でした。先生方や学生さんからも慕われていました。学生から「つきあってください」と交際を申し込まれたこともあったそうです。私は、地震の日、職場が心配になり九時前に店にでてきたんです。学生も次々に六甲台に上がって来ましたが、学生から「六甲道駅の高架が落ちてる」と聞き



アラブ旅行帰りの同僚の江口さん(右=現・震災救援隊代表)と一緒に。中央が國澤さん。

ました。声をかけたんです。翌日から、組織部の学生も出て、三日がかりで、二十人くらいで掘りました。畳をはがして、モルタルどけて。ようやくベッドにたどり着いて、一人が暖かい肌になれるまで。レスキュー隊を、亡くなっているとわかると後回しにされるので、『生き埋めになって』と呼んで来て、掘り出したら……やっぱり彼女でした。確認したのが、二十日の午後一時、収容されたのが四時か四時半くらいでした。二月末くらいですか、ようやく生協も営業開始しました。そしたら、先生方の何人かが、國澤さんのご実家にお参りしたいと、たずねていらっしやいました。わたしは(ご実家と)連絡をとりました。お客さんと、従業員の間を越えて、國澤さんは慕われてたんだなと感じました。

アメフト一部復帰ならず 入替戦 同大に残り42秒で逆転負け



最後の土壇場で、同大に逆転される(十二月十日、西宮球技場で)

応援団を背に雪辱を誓う

十二月十日(日)、関西学生アメフト秋季リーグ、同大対神大の、DIV.1 1-2の入れ替え戦が、西宮球技場で行われ、一部復帰を一目見ようと、約1800人が、応援に駆けつけた。試合の流れは完全に神大のものだった。TDこそな

いものの、FG、セーフティ一本つつを挙げ、残り時間1分まで5-0とリードしており、誰もが神大の勝利を信じていた。しかし勝利の女神は、突如神大にそっぽを向き、同大の味方に付いた。それまでいまいち波に乗れていなかった同大

QB山田のパスが決まりだし、あっと言う間に自陣3ヤードまで攻め込まれ、絶体絶命のピンチに追い込まれた。必死のディフェンスも空しく、残り42秒、逆転TDパス、TFPが決まる。最後の反撃も空しく8-5で敗れ、神大の悲願、一部復帰への道も閉ざされた。

サッカーも一部ならず 入替戦 天理大と引き分け再試合

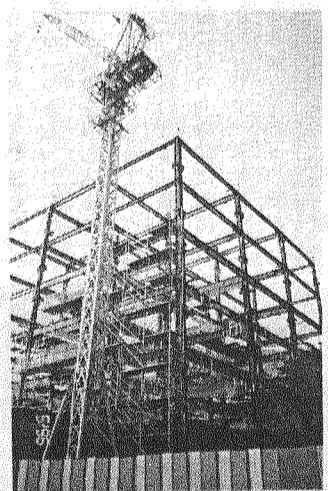
神大サッカー部は、春の関西学生サッカー選手権で優勝した天理と、引き分け再試合にもつれこむ死闘の末、惜しくも敗れ一部復帰を逃した。

サッカー関西学生リーグは十二月十四日大阪の舞洲スポーツアイランドで入れ替え戦の再試合が行われ、神大(2部2位)は天理大

(1部7位)に2-1で敗れた。二日の第1戦では、1-0で天理大が勝ち、十日の第2戦では1-0で神大が

勝ち、勝ち点が並び10分ハーフの延長戦が行われた。しかし延長戦でも決着がつかず、再延長戦が行われた予定だ。

もうすぐ完成 国文・大教センター棟 六甲・国際協力研究科



三月完成めざす大学教育センター新講義棟。(一月五日撮影)

国際文化学部の大学教育センター講義棟の建設が、三月末の完成めざしてD300教室前で進んでいる。

同センターの、外国語や健康スポーツ科学実習の講義室、LL教室など全学共通授業科目の教室が移る。震災の関連で工事が遅れているが、大学では後期の使用開始をめざすとされている。一方、六甲台では、第一学舎の西で、独立大学院の国際協力研究科校舎の建設も進んでいる。本部施設部によると、こちらも建物は三月末完成予定が少し遅れそう。同科の研究室が入る予定だ。

95年 神大十大ニュース決まる

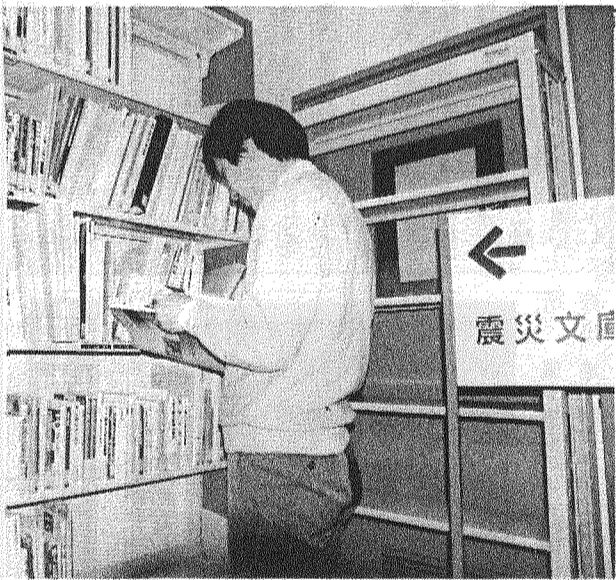
神戸大学1995年十大ニュース

- 1位 阪神大震災で神大生三十九人が亡くなる
- 2位 神戸大学合同慰霊祭行われる
- 3位 入学式～震災のため六甲台講堂を会場に
- 4位 総合ボランティアセンター創設される
- 5位 西塚学長3つの賞を受ける
- 6位 震災調査の野村亮太郎・文学部教授が交通事故死
- 7位 神大OBがハイジャック
- 8位 男子ラクロス全日本選手権で準優勝、馬術部全日本に出場
- 9位 アメフト、サッカー一部入替戦で惜敗
- 10位 震災文庫が六甲台図書館に開設される
- 次点 神大が被災者の避難所に学生の下宿被害二千人超す

神大ニュースネット委員会編集部の選んだ、一九九五年の十大ニュースが、十二月末に決まった。十項目のうち、六項目が震災関連。ボランティアセンターの設立は力強いニュースだったが、震災調査のため、墓石倒壊状況の調査に精力的に取り組んでいた、文学部の野村教授の事故死は、つらいニュースだった。

一方スポーツ関連ニュースが相次ぎ、ニュースネットでは「神京戦」「アメフト入れ替え戦」「ラクロス準優勝」と三回号外を発行した。

四千点の資料収集 図書館に震災文庫開設



十月三十日から神大人文学部系図書館に震災文庫が開設された。神大図書館が震災直後からの資料収集を学内外に呼びかけ、現在までに総数4000点の資料が集まっている。このうち整理済みで公開されているものは1400点ある。また未公開の資料でも、インターネットで自由に見ることが出来る。今までの利用者の中では学外者や他府県の利用者が4割を占めている。学内の利用者ではゼミで利用する学生や、震災研究会の教員が多い。

躍進する総合レジャー出版社

株式会社 リイド社

〒166 東京都杉並区高円寺北2-3-2 TEL(03)5373-7001(代表)

- ライトコミック
- コミックマイティ
- ACTRESS
- GAME遊II
- 恐怖の館
- パーフェクト・メモワール
- エンタメマガジン
- ボナンザ
- ACTRESSテラックス
- コミックゲームF
- 恐怖の館増刊
- リイド文庫
- エンタセレクション
- SPコミックス
- 競馬NOW
- おとこの遊艶地
- むれむれハーレム
- 写真集・ビデオ